



トライアル版
セットアップマニュアル

- ・ このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。

DataNature(データネーチャー)は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。

DBport(デービーポート)は、株式会社エヌジェーケーの商標です。

商奉行と蔵奉行は株式会社オービックビジネスコンサルタントの登録商標です。

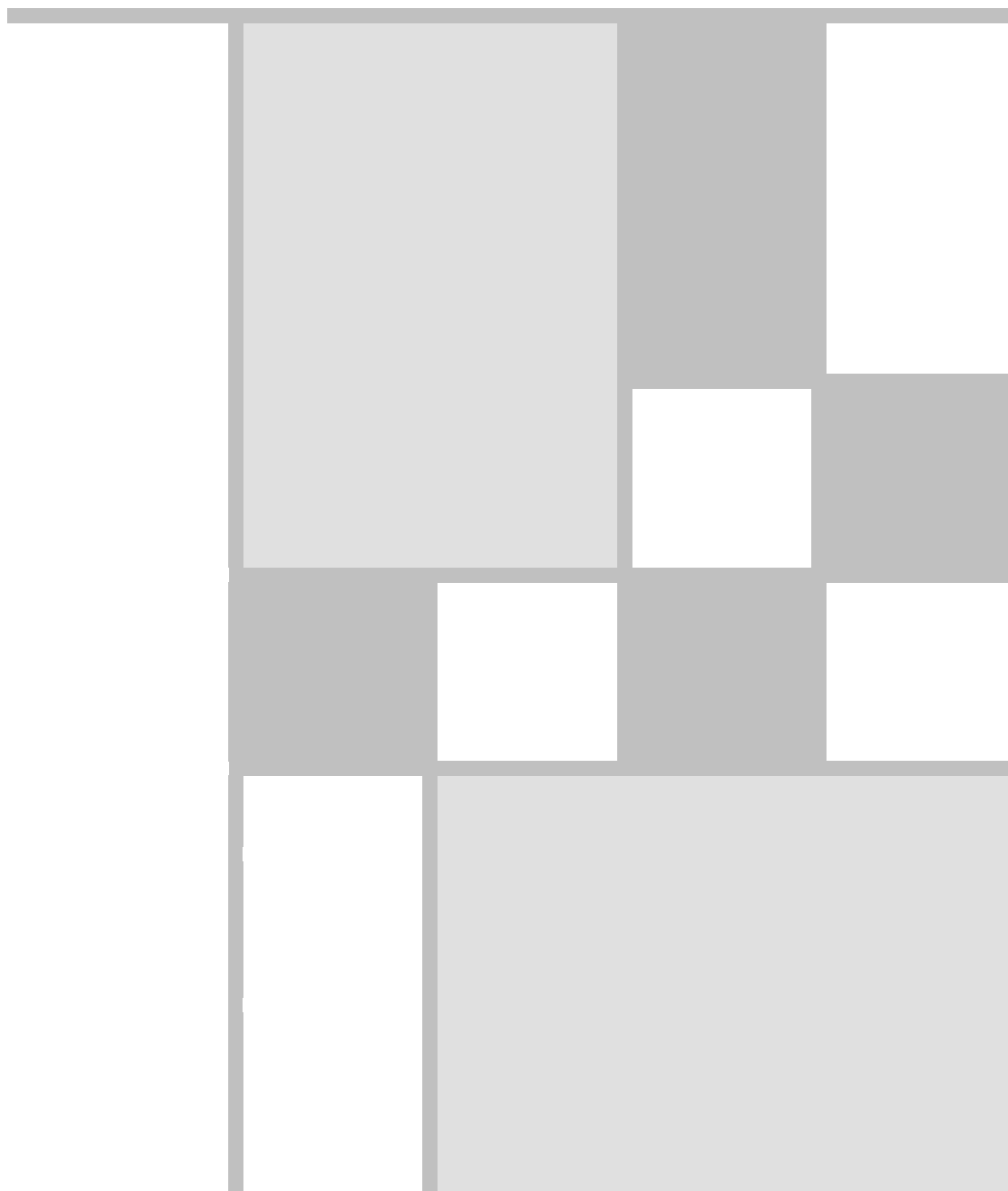
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

第I章	導入にあたって	1
1	はじめに	2
1-1	DataNature for 奉行 トライアル版ご使用の注意	2
1-2	マニュアルの構成	2
1-3	マニュアルの表記	3
2	製品構成と必要なシステム環境	4
2-1	DataNature for 奉行の製品構成	4
2-2	必要なシステム環境	4
2-3	インストール後のフォルダ構成について	5
第II章	インストールとアンインストール	7
1	プログラムのインストール	8
1-1	導入の流れ	8
1-2	プログラムのインストール	10
1-3	ログイン ID のセットアップ	19
1-4	基本設定	21
1-5	データソースの作成	23
1-6	テンプレートの再インストール	24
1-7	エラーと対処方法	25
2	プログラムのアンインストール	28
2-1	プログラムのアンインストール	28
2-2	ログイン ID の削除	30
第III章	DataNature for 奉行の活用	33
1	会社選択画面の構成と機能	34
2	テンプレートの活用	37
2-1	テンプレートの実行	37
2-2	テンプレート一覧の呼び出し	39
2-3	分析カテゴリの切り替え	40
2-4	テンプレートの終了	41
2-5	便利な機能	43



I 導入にあたって



Data ***Nature***® for 奉行

1. はじめに

1-1 DataNature for 奉行 トライアル版ご使用の注意

トライアル版は、インストール後 30 日間ご利用いただけます。試用期限が終了すると「試用期限が切れました」とのメッセージが表示され、ご利用いただくことができなくなります。

試用期限が終了すると、トライアル版をアンインストールして再度インストールしてもご利用いただくことはできません。

なお、既に DataNature6 for 奉行、DataNature6、DBportSE の製品版のいずれかがインストールされている環境、および、過去に DataNature6、または、DBportSE のトライアル版をインストールし、試用期限が切れている環境ではご利用いただくことはできませんのでご注意ください。

また、製品版を購入してインストールする場合は、必ずトライアル版を事前にアンインストールする必要があります。

トライアル版のご使用方法に関するお問い合わせは、お受けすることができません。付属のマニュアル、および、ヘルプにてご確認ください。

但し、インストールトラブルについては、メールにて対応させていただきます、下記のアドレスまでご連絡ください。

DataNature@njc.co.jp

なお、トライアル版で発生した不具合は、保障の限りではございません。あらかじめご了承ください。

■ 以前のバージョンをお使いのお客様へ

最新バージョンのトライアル版をインストールするには次の事項をご了解の上、ご試用ください。

- 以前のバージョンで作成された各種ファイル(拡張子 dsf、dtm、dta 等)を トライアル版で読み込み保存した場合、そのファイルは以前のバージョンで使用できなくなります。事前にバックアップを取る等のご対応をお願い致します。
- トライアル版をインストールすると、Windows のファイル拡張子(dsf、dtm、dta 等)に関連づけられるアプリケーションがトライアル版(最新バージョン)となるため、アイコンイメージが変わってしまいます。また、該当ファイルをダブルクリックしたときに起動されるアプリケーションもトライアル版になりますので、現在のバージョンを利用されている環境とは別の環境にトライアル版をインストールする等のご対応をお願い致します。

1-2 マニュアルの構成

DataNature for 奉行のマニュアルは、次の3冊で構成されています。

■ DataNature6 for 奉行トライアル版セットアップマニュアル(本書)

DataNature6 for 奉行トライアル版を使用するための環境や注意事項、インストール方法について記載されています。必ず最初にお読みください。

■ DataNature6 入門マニュアル(PDF ファイル)^{※1 ※2}

DataNature6 を初めて利用される方、利用されて間もない方のための入門書です。

DataNature6 for 奉行トライアル版をインストールされたパーソナルコンピュータ(以降、PC)で、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DataNature6 トライアル版]-[Manual]-[DataNature6 入門マニュアル.pdf]から起動してください。

■ DBportSE 入門マニュアル(PDF ファイル)^{※1 ※2}

DBportSE を初めて利用される方、利用されて間もない方のための入門書です。
DataNature6 for 奉行トライアル版をインストールされた PC で、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DBportSE]-[DBportSE 入門マニュアル.pdf]から起動してください。

※1: DataNature for 奉行を構成しているプログラム「DataNature6」および「DBportSE」の個別のマニュアルです。

※2: 印刷物としてのご提供はございませんので、必要に応じてプリントアウトしてご利用ください。

※: ダイアログボックスなど、個別の機能の使い方の詳細については、オンラインヘルプをご参照ください。

※: DataNature6 の各画面から、操作手順のヒントを呼び出して参照することができます。

※: DataNature6 の機能をご紹介したオートデモやチュートリアルをご覧くださいことができます。DataNature6 for 奉行トライアル版をインストールされた PC で、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DataNature6 トライアル版]-[Tools]から起動してください。また、DataNature6 を初めて起動した時に表示される「ようこそメニュー」からもご覧になれます。

1-3 マニュアルの表記

■ 画面に表示されるコマンド名などの文字





コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス

<大阪営業所>データボタン

■ マニュアルで使用しているアイコン

	“注意”を意味します。 知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。
	“参考”を意味します。 知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。
	“ポイント”を意味します。 操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。
	“参照”を意味します。 操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

■ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

2. 製品構成と必要なシステム環境

2-1 DataNature for 奉行トライアル版の製品構成

DataNature for 奉行トライアル版は、DataNature6 と DBportSE の2つのプログラムと、専用テンプレートで構成されています。

専用テンプレートは、「期間別集計」、「担当別集計」、「取引先別集計」、「商品別集計」の4つの分析カテゴリがあり、合計で400を超える定型をワンタッチで利用することができます。

2-2 必要なシステム環境

DataNature6 for 奉行トライアル版のインストール、および、初期設定をはじめる前に、ご使用のシステムをご確認ください。インストールに必要なシステム環境は以下のとおりです。

OS	Windows 2000 Professional (SP3 以上) / Windows XP Professional / Windows Vista / Windows 7
メモリ	256MB 以上 (推奨 1GB 以上)
HD 容量	100MB 以上の空き容量 (インストール時)
解像度	1,024x768 ドット 以上
周辺機器	NIC (Network Interface Card)
ネットワークプロトコル	LAN 環境 (TCP/IP)
その他	利用可能な奉行シリーズのクライアントがセットアップされている必要があります。

【利用可能な奉行シリーズ】

商奉行 21 Ver. II、Ver. III、Ver. IV、Ver. 5 (スタンドアロン/LANPACK)、
 商奉行 V ERP (Single Edition/Standard Edition)
 商奉行 i (スタンドアロン/Network Edition)

蔵奉行 21 Ver. II、Ver. III、Ver. IV、Ver. 5 (スタンドアロン/LANPACK)、
 蔵奉行 V ERP (Single Edition/Standard Edition)
 蔵奉行 i (スタンドアロン/Network Edition)

2-3 インストール後のフォルダ構成について

インストール完了後、次のフォルダが自動的に作成されます。



インストールプログラムや DataNature for 奉行の機能以外で、以下のフォルダの移動や変更を行なった場合、動作保障できませんのでご注意ください。

■ DataNature6

C:\Program Files\DataNature6 ^{※1}	
DataNature for 奉行の動作に必要なファイルの格納先です。	
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\NJK\DataNature6	
¥Autodemo ^{※2}	オートデモの格納先フォルダです。
¥Manual ^{※2}	「入門マニュアル.pdf」の格納先フォルダです。
¥Tutorial ^{※2}	チュートリアルの格納先フォルダです。
¥Excel ^{※2}	Excel 出力機能の動作に必要なファイルの格納先です。
C:\NJK\DataNature6	
¥ak21	テンプレートに関するファイルの格納先フォルダです。
¥AutoSave	テーマファイル(*.dtm)の自動保存先フォルダです。オプション設定で変更が可能です。
¥Data	ソースデータファイルの読込先、保存先の標準フォルダです。オプション設定で変更が可能です。
¥Dta	テーマ・メニューファイル(*.dta)の保存先の標準フォルダです。オプション設定で変更が可能です。
¥Dtm	テーマファイル(*.dtm)の保存先の標準フォルダです。オプション設定で変更が可能です。
¥Sample	サンプルデータの格納先フォルダです。

※1: インストール時の設定によりフォルダ構成が異なります。

※2: Windows 7/ Vista では、初期値が「C:\ProgramData\NJK\DataNature6」となります。

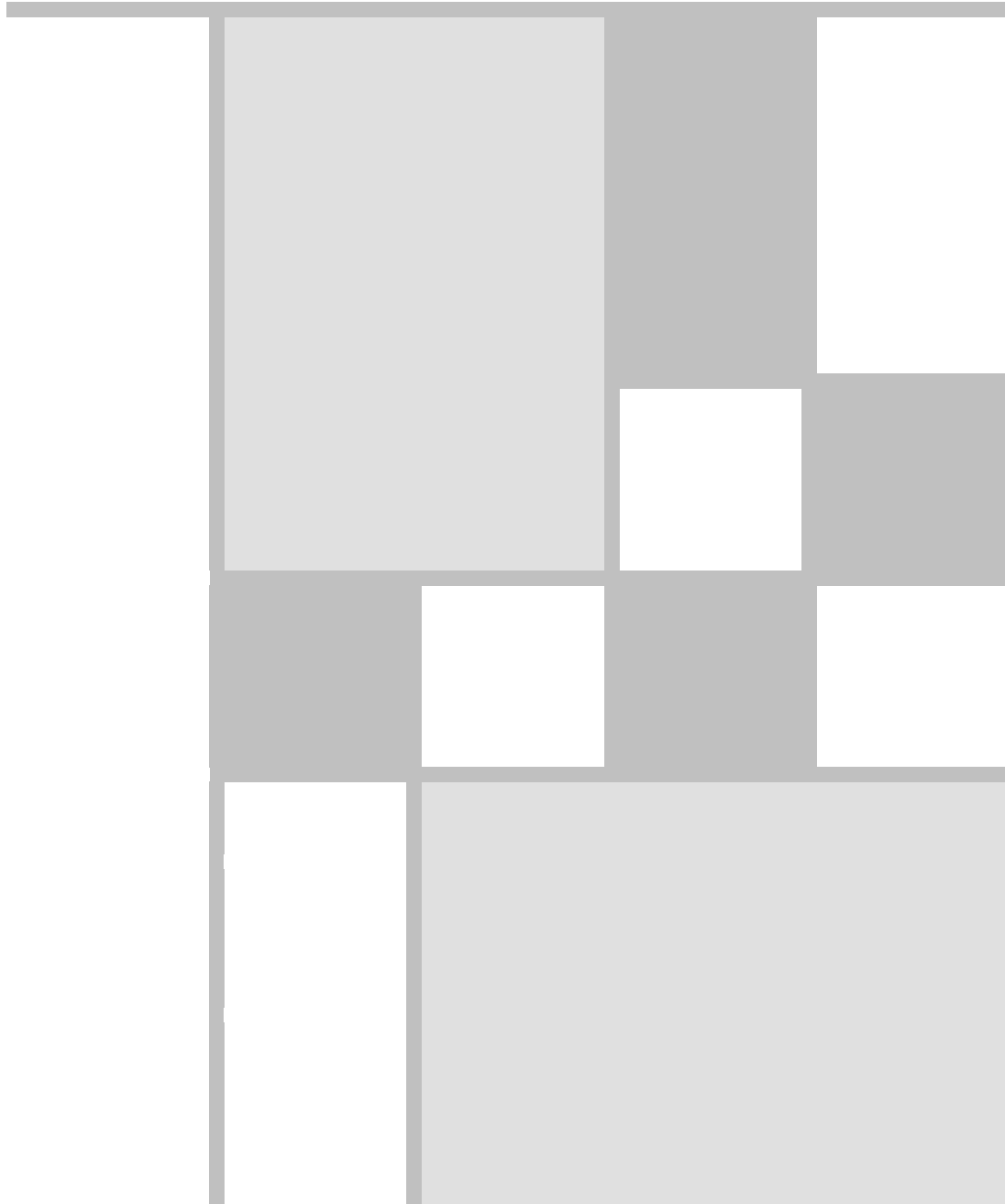
■ DBportSE

C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Personal ^{※1}	
DBportSE の動作に必要なファイルの格納先です。	
¥Sample ^{※1}	サンプルデータの格納先フォルダです。
C:\Documents and Settings\ログオンユーザー名\My Documents\DBport SE\Personal ^{※2}	
DBportSE の定義情報の格納先です。DBportSE をはじめて起動したときに作成されます。	
¥private ^{※2}	プライベート情報定義ファイルとログファイルの格納先です。
¥Server ^{※2}	データソース管理情報(テーブル/カラム名の変更情報)の格納先フォルダです。

※1: インストーラーで設定する初期値です。インストール時に編集された場合はフォルダ構成が異なります。

※2: Windows7/ Vista では、「C:¥Users¥ログオンユーザー名¥Documents¥DBport SE¥Personal」となります。

II インストールと アンインストール



1. プログラムのインストール

1-1 導入の流れ

DataNature for 奉行 トライアル版の導入の流れは、奉行シリーズのプロダクトにより異なります。
 下表にて、ご利用の奉行シリーズのプロダクトと導入パターンをご確認の上、導入のステップをチェックしてください。

ご利用の奉行シリーズ		パターン	ご利用の奉行シリーズ		パターン		
奉行	スタンドアロン	A	奉行 21	Ver.5	スタンドアロン	A	
	NETWORKEdition	C				LANPACK	C
奉行 V ERP	SingleEdition	A		Ver.IV		スタンドアロン	A
	StandardEdition	C					LANPACK
				Ver.III		スタンドアロン	B
							LANPACK
				Ver. II		スタンドアロン	B
							LANPACK

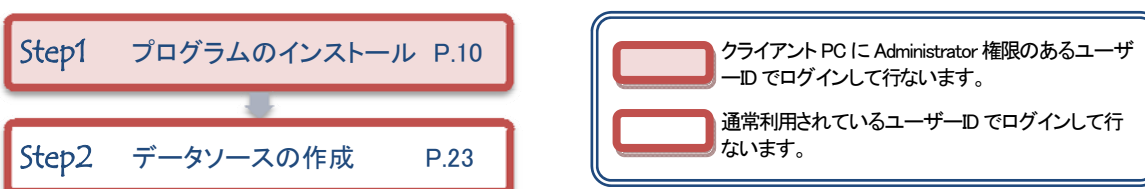
【パターン A】

DataNature for 奉行のセットアップは以下の手順で行ないます。各ステップの詳細は、参照ページをご覧ください。



【パターン B】

DataNature for 奉行のセットアップは以下の手順で行ないます。各ステップの詳細は、参照ページをご覧ください。

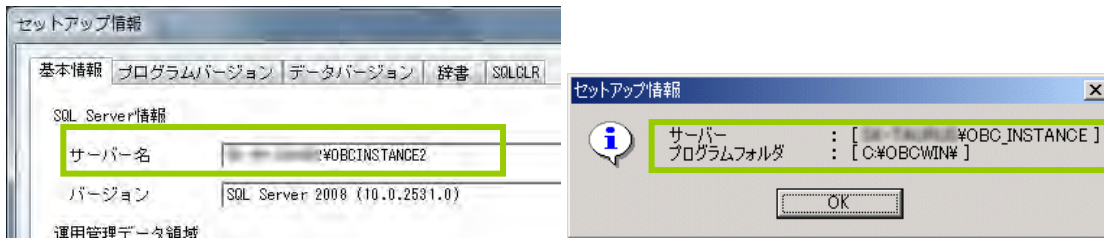


【パターン C】

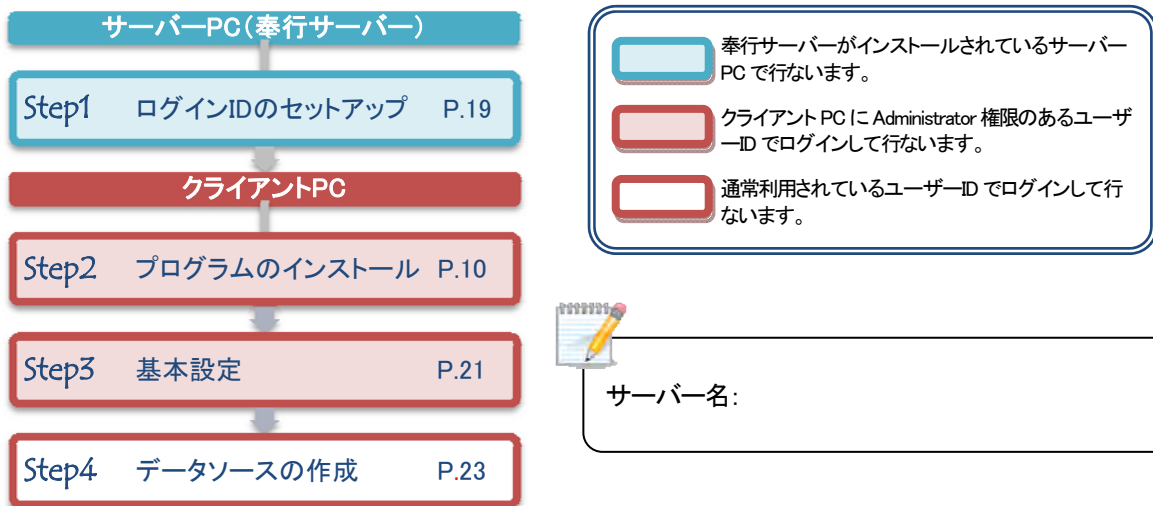
作業を行なう前に、奉行シリーズを起動し、奉行サーバー名を確認します。Step3 の基本設定で使用しますので、メモ欄に確認したサーバー名をメモしてください。

<サーバー名の確認手順>

- ▼ 奉行シリーズを起動し、[ヘルプ]-[バージョン情報]メニューを実行します。
- ▼ 表示された[バージョン情報]ダイアログボックスで、[セットアップ情報]をクリックします。
- ▼ [セットアップ情報]ダイアログボックスが表示されます。そこに記載されているサーバー名をメモしてください。
 ※ 奉行のプロダクトにより、表示される[セットアップ情報]ダイアログボックスのイメージが異なります。ご注意ください。



DataNature for 奉行のセットアップは、以下の手順で行ないます。各ステップの詳細は、参照ページをご覧ください。

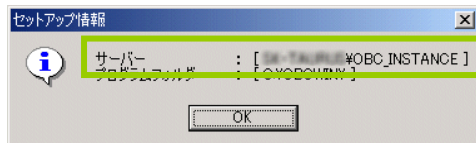


【パターンD】

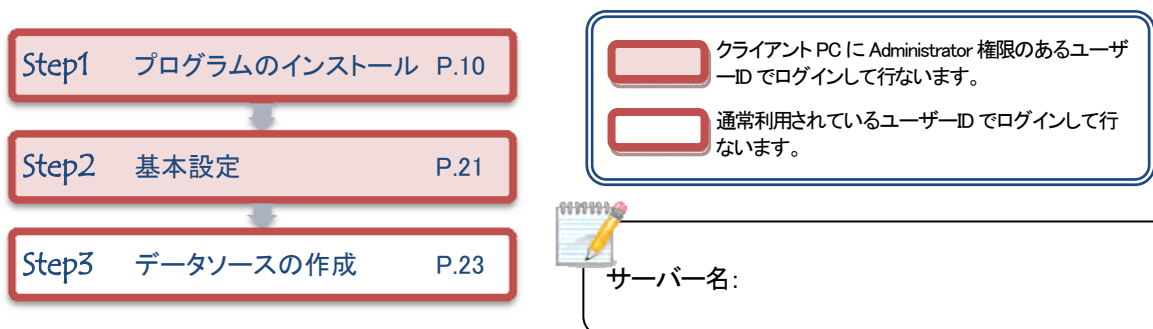
作業を行なう前に、奉行シリーズを起動し、奉行サーバー名を確認します。Step3 の基本設定で使用しますので、メモ欄に確認したサーバー名をメモしてください。

<サーバー名の確認手順>

- ▼ 奉行シリーズを起動し、[ヘルプ]-[バージョン情報]メニューを実行します。
- ▼ 表示された[バージョン情報]ダイアログボックスで、[セットアップ情報]をクリックします。
- ▼ [セットアップ情報]ダイアログボックスが表示されます。そこに記載されているサーバー名をメモしてください。



DataNature for 奉行のセットアップは、以下の手順で行ないます。各ステップの詳細は、参照ページをご覧ください。



1-2 プログラムのインストール

DataNature for 奉行 トライアル版をインストールします。インストールは、次の手順で行ないます。

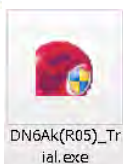


プログラムのインストールを行なう前に、「1-1 導入の流れ」(P.8)にて、DataNaturefor 奉行の導入のステップを確認のうえ、作業を行なってください。



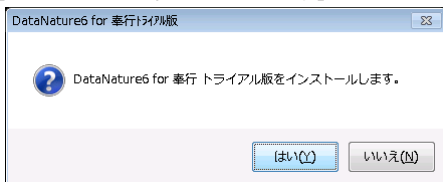
インストールは Administrator 権限のあるユーザーで行なってください。

- 1 Web サイトからダウンロードした、DataNature for 奉行 トライアル版のインストール用ファイルを起動します。



Web サイトからトライアル版をダウンロードされる際に、ファイルを保存せずに直接実行する方法を選択した場合には、ダウンロードが終了するとすぐに以下の画面が表示されます。

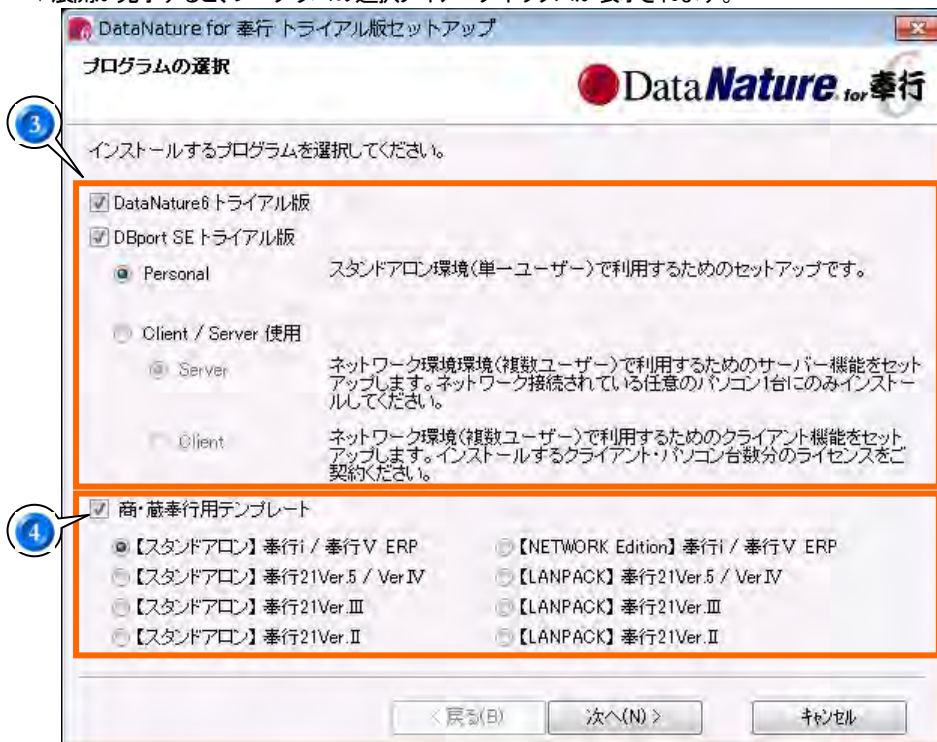
- ▼[DataNature for 奉行 トライアル版]のメッセージボックスが表示されます。



- 2 インストールを行なう場合は、[はい]ボタンをクリックします。

- ▼トライアル版インストールプログラムが自動展開され、デスクトップ上に「DN6Ak(R05)_Trial」フォルダが作成されます。

- ▼展開が完了すると、プログラムの選択ダイアログボックスが表示されます。



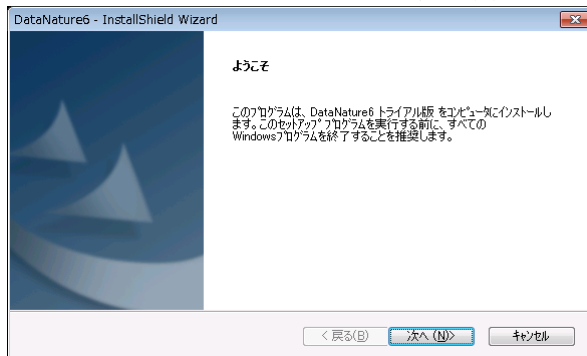
- 3 インストールするプログラムを選択します。

「DataNature6」および「DBportSE」と「Personal」がそれぞれチェックされていることを確認してください。

- 4 次に「商・蔵奉行用テンプレート」にチェックオンし、現在お使いの奉行シリーズのバージョンを選択します。

- 5 インストールするプログラムと奉行シリーズのバージョンの指定を確認し、間違いがなければ[次へ]ボタンをクリックします。

▼DataNature6 のセットアッププログラムが起動します。

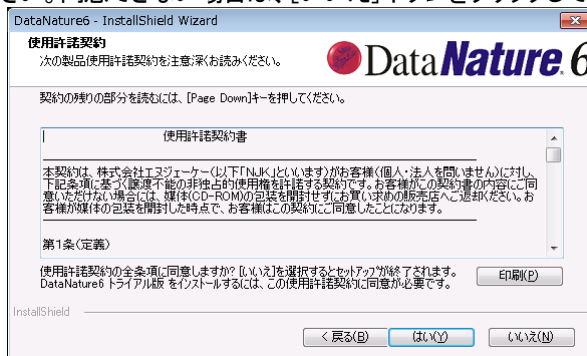


- 6 [次へ]ボタンをクリックします。
●[キャンセル]ボタンをクリックすれば、インストールを中止します。

- 7 ご利用注意事項の確認についての説明です。よくお読みの上、[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 8 ソフトウェア使用許諾についての説明です。よくお読みの上、同意される場合にのみ[はい]ボタンをクリックしてください。同意できない場合は、[いいえ]ボタンをクリックしてください。インストールを中止します。



- 9 ユーザー情報を入力します。
すべての情報が入力されると[次へ]ボタンが有効になりますので、クリックして次に進みます。



- 10 インストールフォルダを指定します。
 標準のインストール先は『C:\Program Files\DataNature6』になっています。
 標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。



任意のフォルダ名称には、半角文字を使ってください。全角英数字を使用した場合、プログラムが正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

- 11 ソースデータの読み込み先・保存先となるフォルダを指定します。
 標準では『C:\NJK\DataNature6\Data』になっています。
 標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。



手順⑩～⑪で指定した情報は、インストール完了後に再設定することが可能です。
 なお、Administrator 権限ユーザー以外で DataNature for 奉行をご利用になる場合は、ログインされるユーザーで、書き込み権限のあるフォルダを指定ください。

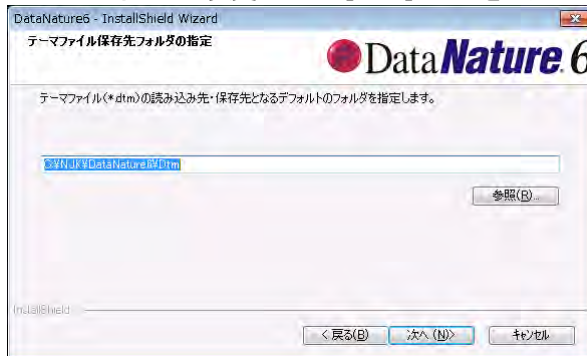
- 12 テーマ・メニューファイルの保存先フォルダを指定します。
 標準のインストール先は『C:\NJK\DataNature6\Dta』になっています。
 標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。



13 テーマファイルの保存先フォルダを指定します。

標準のインストール先は『C:\%NJK%\DataNature6\Dtm』になっています。

標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。



14 テーマファイルの自動保存先フォルダを指定します。

標準では『C:\%NJK%\DataNature6\AutoSave』になっています。

標準設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。



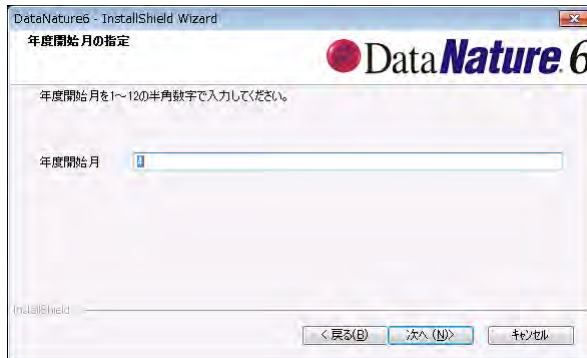
テーマファイルの自動保存機能は、ソースデータ画面のメニューバー[ツール]-[オプション]をクリックして表示される[オプション]ダイアログボックスの[環境設定]-[フォルダ](または[フォルダ]タブ)にある「自動保存を適用する」にチェックオンした場合にのみ有効です。

15 分析項目のボタンサイズを指定します。

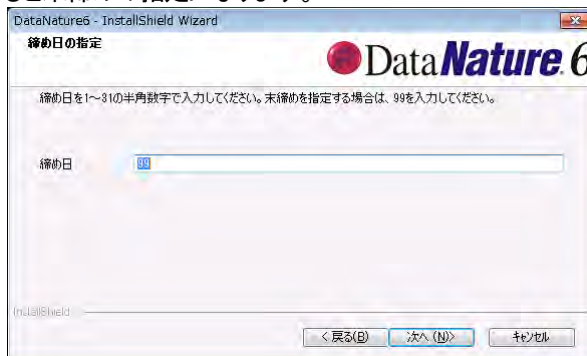
任意のサイズを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



- 16 年度開始月を指定します。1~12 の半角数字を直接入力して、[次へ]ボタンをクリックします。



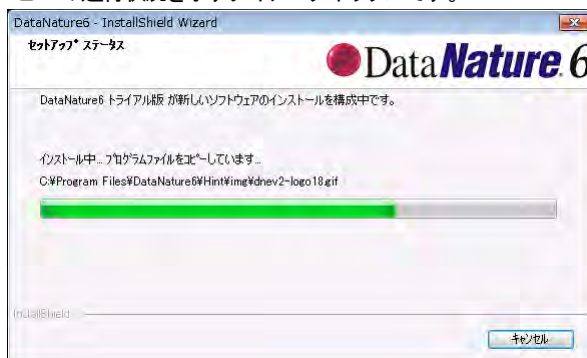
- 17 締め日を指定します。1~31または99の半角数字を直接入力して、[次へ]ボタンをクリックします。なお、99と入力すると末締めの指定になります。



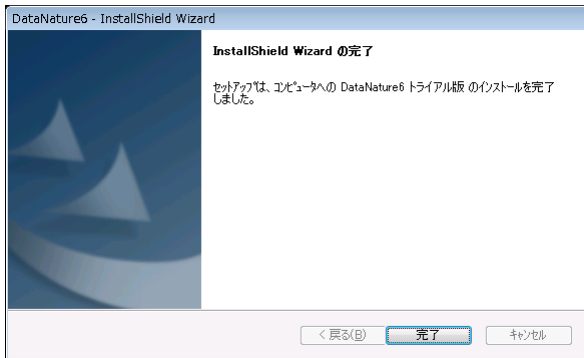
- 18 ファイルコピーの開始画面で現在の設定内容を確認し、よろしければ[次へ]ボタンをクリックします。必要なファイル類のコピーが開始されます。



▼コピーの進行状況を示すダイアログボックスです。



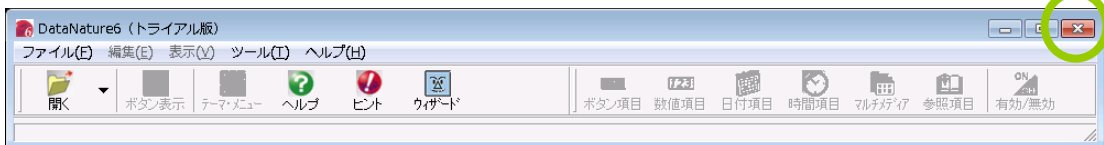
- 19 インストールが終了しました。[完了]ボタンをクリックして DataNature6 のインストールを完了します。



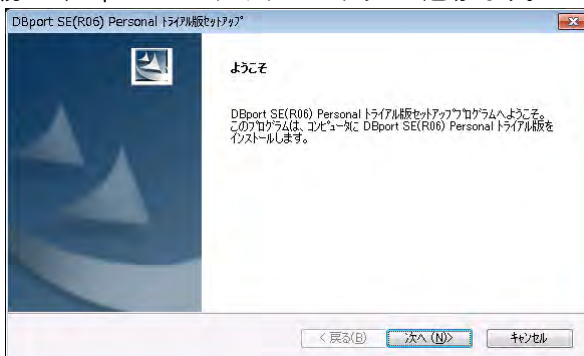
- 20 続いて、DataNature6 起動のメッセージボックスが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



- ▼[DataNature6 トライアル版]が起動します。ここでは、そのまま DataNature6 を終了します。

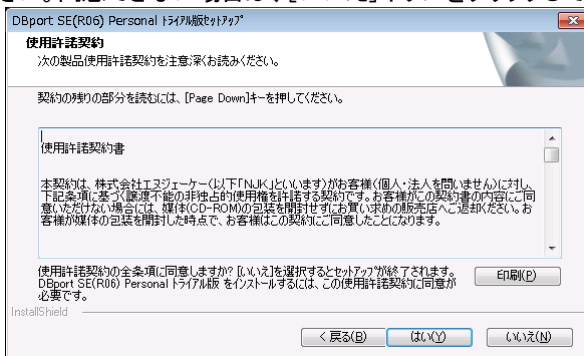


- ▼続いて、DBportSE のセットアッププログラムが起動します。

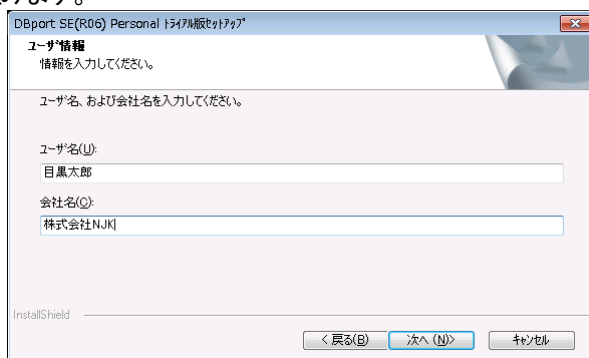


- ▼[次へ]ボタンをクリックします。

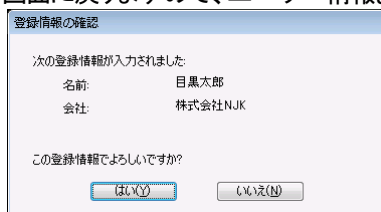
- 21 ソフトウェア使用許諾についての説明です。よくお読みの上、同意される場合にのみ[はい]ボタンをクリックしてください。同意できない場合は、[いいえ]ボタンをクリックしてください。インストールを中止します。



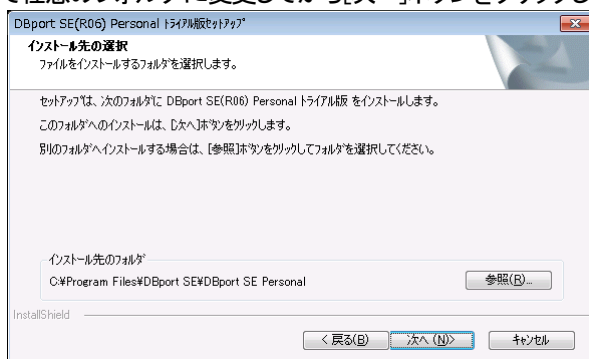
- 22 ユーザー情報を入力します。すべての情報が入力されると[次へ]ボタンが有効になりますので、クリックして次に進みます。



- 23 入力情報の確認ダイアログボックスです。OK の場合は[はい]をクリックしてください。[いいえ]をクリックすると前の画面に戻りますので、ユーザー情報を修正してください。

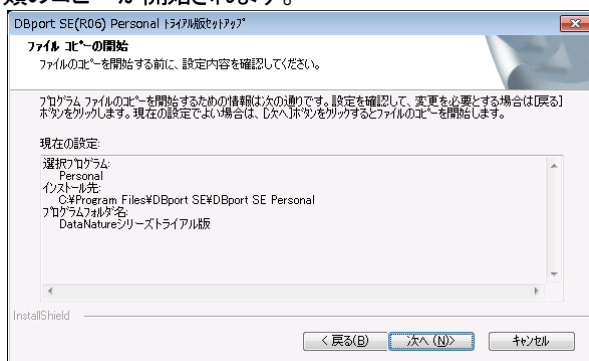


- 24 インストールフォルダを指定します。標準のインストール先は『C:\Program Files\DBport SE\DBport SE Personal』になっています。標準の設定で構わない場合は[次へ]ボタンをクリックして次に進みます。フォルダを変更したい場合は、[参照]ボタンで任意のフォルダに変更してから[次へ]ボタンをクリックします。

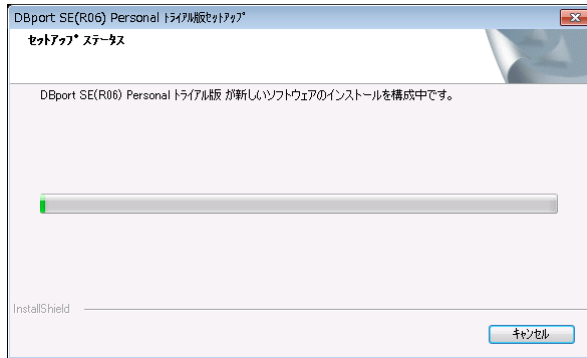


任意のフォルダ名称には、半角英数字を使ってください。全角英数字を使用した場合、プログラムが正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

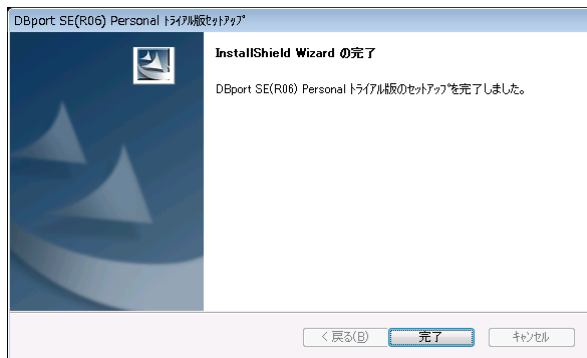
- 25 ファイルコピーの開始画面で現在の設定内容を確認し、よろしければ[次へ]ボタンをクリックします。必要なファイル類のコピーが開始されます。



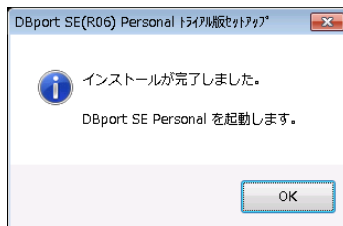
▼コピーの進行状況を示すダイアログボックスです。



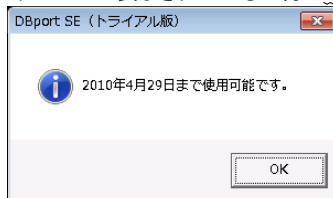
26 インストールが終了しました。[完了]ボタンをクリックして DBportSE のインストールを完了します。



27 続いて、DBportSE Personal 起動のメッセージボックスが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

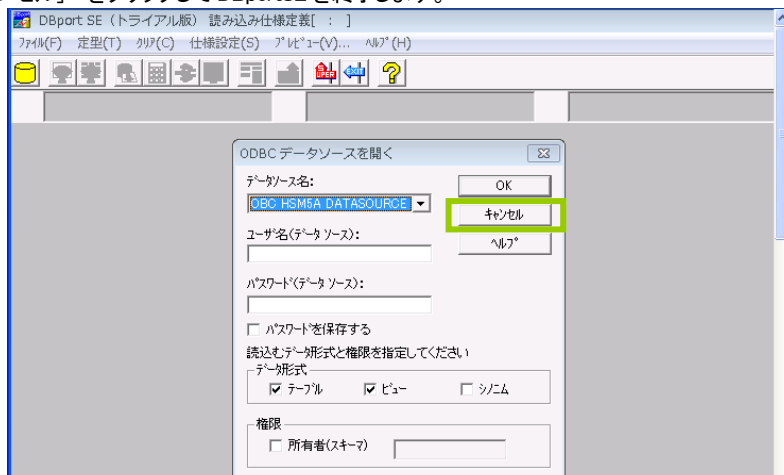


▼トライアル版の試用期限をお知らせするメッセージボックスが表示されます。メッセージに表示されている日付の一日前までご試用になれます。

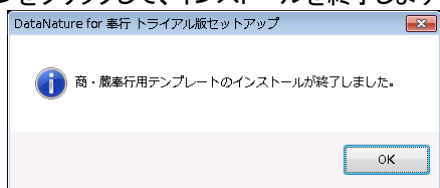


28 [OK]ボタンをクリックします。

▼[DBportSE Personal トライアル版]が起動し、[ODBC データソースを開く]ダイアログボックスが表示されます。ここでは、[キャンセル] をクリックして DBportSE を終了します。



- 29 続けて、商・蔵奉行用テンプレートのインストールが開始され、完了すると次のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックして、インストールを終了します。



以上で、全てのインストール作業が完了しました。



プログラムのインストール作業中にエラーが表示された場合は、「1-7 エラーと対処方法」(P.25)を参照してください。

1-3 ログイン ID のセットアップ

奉行シリーズのデータベース(SQL Server)へアクセスするための設定を行ないます。



スタンドアロン版の奉行シリーズをご利用のお客様

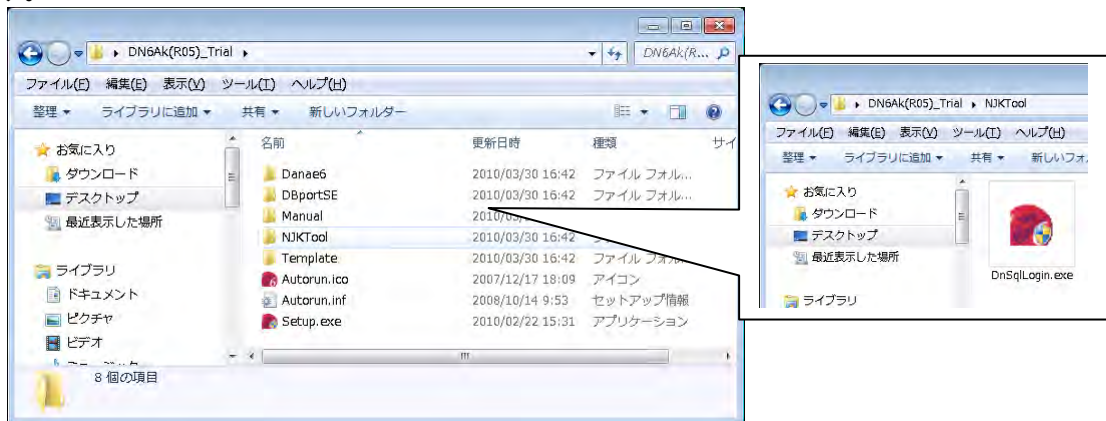
ログイン ID のセットアップは、Administrator 権限のあるユーザーID でログインした状態で行なってください。



ネットワーク対応版の奉行シリーズをご利用のお客様

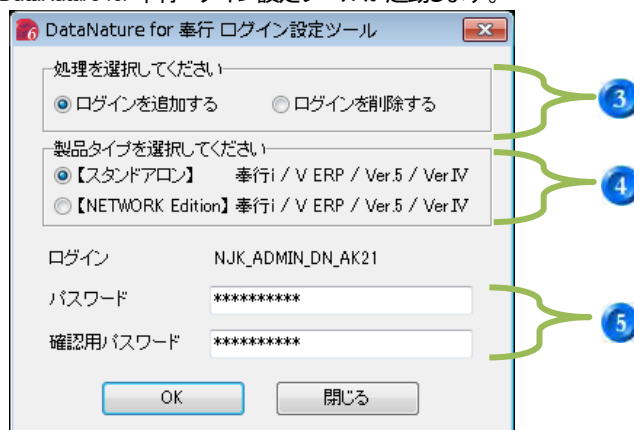
ログイン ID のセットアップは、奉行サーバーがインストールされているサーバーPC で行なう必要があります。トライアル版プログラムをダウンロードした PC のデスクトップに展開された「DN6Ak(R05)_Trial」-「NJKTool」にある「DnSqlLogin.exe」をコピーし、サーバーで作業を行ないます。

- 1 トライアル版プログラムをダウンロードした PC のデスクトップに展開された「DN6Ak(R05)_Trial」-「NJKTool」を開きます。



- 2 [DnSqlLogin.exe]をダブルクリックします。

▼DataNature for 奉行ログイン設定ツールが起動します。



- 3 [処理を選択してください]欄で、「ログインを追加する」を選択します。
- 4 次に、[製品タイプを選択してください]欄で、ご利用の奉行シリーズの製品タイプを、「スタンドアロン」、または、「NETWORK Edition」から選択します。



製品のタイプは、以下を参考に選択してください。

【スタンドアロン】

奉行 i スタンドアロン / 奉行 V ERP Single Edition / 奉行 21 シリーズのスタンドアロン版

【NETWORK Edition】

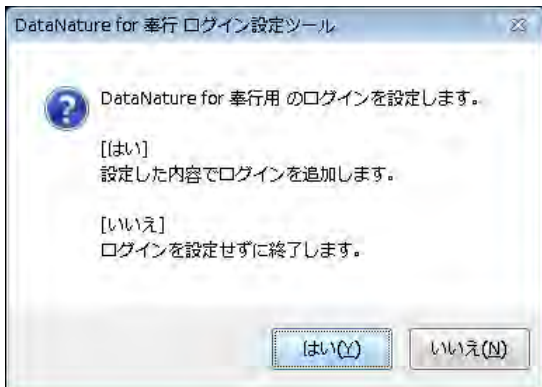
奉行 i NETWORK Edition / 奉行 V ERP Standard Edition / 奉行 21 シリーズの LANPACK 版

- 5 [パスワード]は、初期設定で『D@t@n0ture』（“n”の後の「0」は数字のゼロ）が指定されています。問題が無ければ、パスワードは初期値のまま変更せずにご利用ください。
パスワードを変更したい場合は、[パスワード]欄と、[確認用パスワード]欄に入力します。

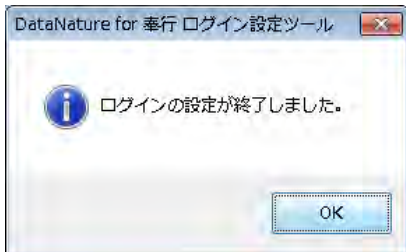


パスワードを変更した場合は、テンプレートファイルのアカウント設定の修正を行なう必要があります。詳しくは、「1-7 エラーと対処方法」の「A」奉行シリーズのデータベース (SQL Server) へアクセスするためのパスワードが設定されている場合 (P.26) をご覧ください。

- 6 設定が完了したら[OK]ボタンをクリックします。
▼設定確認のダイアログボックスが表示されます。[[はい]ボタンをクリックします。



- ▼「ログインの設定が終了しました」のメッセージボックスが表示されます。



- 7 [OK]ボタンをクリックしてログインの設定を完了します。



ログイン ID のセットアップ作業中にエラーが表示された場合は、「1-7 エラーと対処方法」(P.25)を参照してください。

1-4 基本設定

ネットワーク対応版の奉行シリーズをご利用の場合、奉行シリーズのサーバーへアクセスするための基本設定を行います。



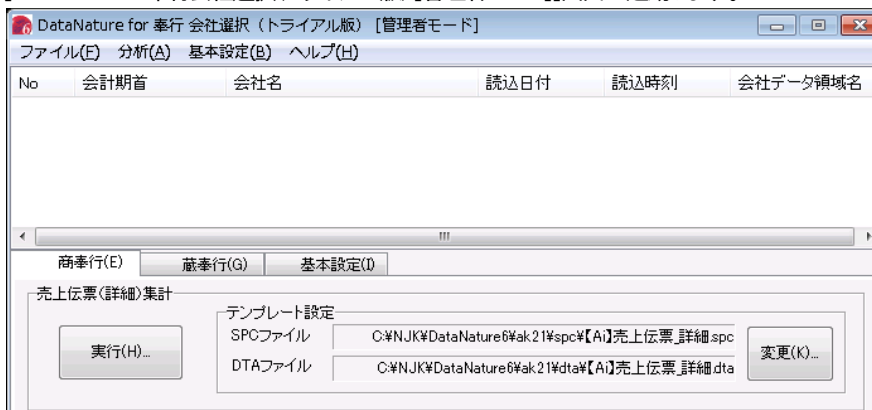
基本設定は Administrator 権限のあるユーザーで行なってください。

- ① デスクトップ上に表示された[DataNature6 for 奉行 会社選択]のショートカットアイコンをダブルクリックします。



Windows Vista、または、Windows 7 でご利用の場合は、ショートカットアイコンの上で右クリックし、「管理者として実行」から実行する必要があります。ご注意ください。

- ▼[DataNature for 奉行会社選択(トライアル版) [管理者モード]]画面が起動します。

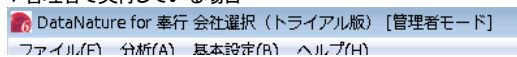


タイトルバーに『管理者モード』と表示されていない場合は、設定が行なえません。

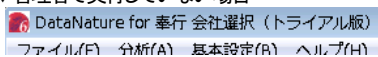
Administrator 権限のあるユーザーでログインしているか、また、Windows Vista、または、Windows 7 でご利用の方は、「管理者として実行」から操作しているかをご確認ください。



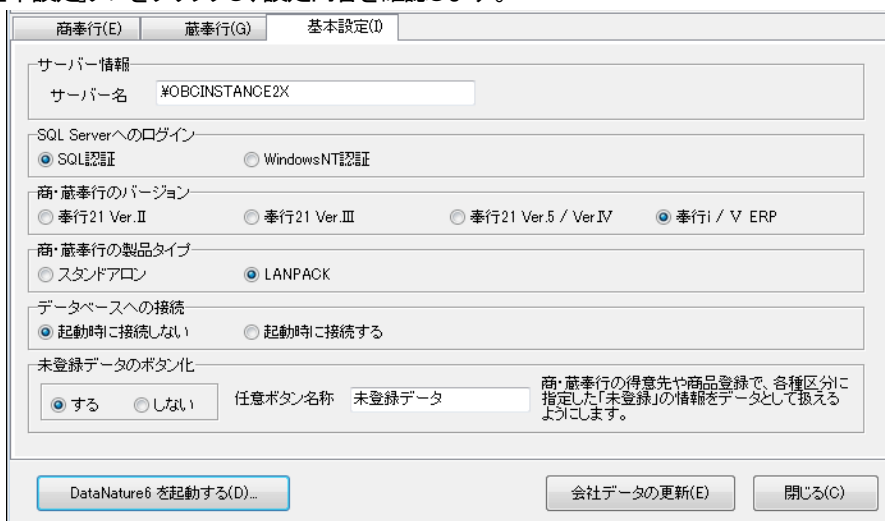
- ▼管理者で実行している場合



- ▼管理者で実行していない場合



- ② [基本設定]タブをクリックし、設定内容を確認します。



■ サーバー情報

予め P.9 でメモしたサーバー名を参照し、[サーバー名]テキストボックスに、ご使用中の奉行シリーズがインストールされているサーバー名を直接入力します。

■ SQL Server へのログイン

SQL Server へのログイン方法を選択します。通常は「SQL 認証」を指定します。

■ 商・蔵奉行のバージョン

「商・蔵奉行のバージョン」がご使用中のバージョン(インストール時に選択したバージョン)になっていることを確認します。



バージョンの指定が間違っている場合は、テンプレートをインストールし直す必要があります。
[DataNature for 奉行 会社選択]画面を終了し、「1-6 テンプレートの再インストール」(P.24)を参照して、テンプレートファイルの再インストールを行なってください。

■ 商・蔵奉行の製品タイプ

「LANPACK」が選択されていることを確認します。

■ データベースへの接続

「起動時に接続する」を選択します。

■ 未登録データのボタン化

必要に応じて内容を編集します。

3 設定ができれば、[閉じる]ボタンをクリックし、[DataNature for 奉行会社選択]画面を終了します。



基本設定の作業中にエラーが表示された場合は、「1-7 エラーと対処方法」(P.25)を参照してください。

1-5 データソースの作成

奉行シリーズのデータベース(SQL Server)へアクセスするために、ODBC データソースの作成を行ないます。

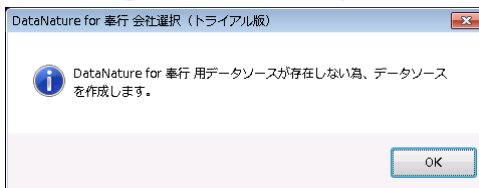


データソースの作成は、普段使用するユーザーID でPCにログインして行ないます。

- 1 デスクトップ上に表示された[DataNature6 for 奉行会社選択]のショートカットアイコンをダブルクリックします。

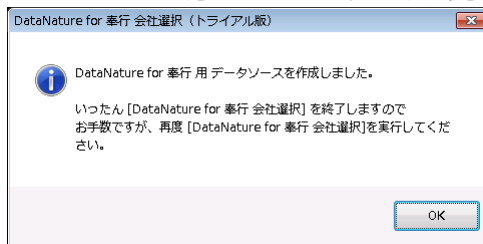


▼データソースを作成するメッセージが表示されます。



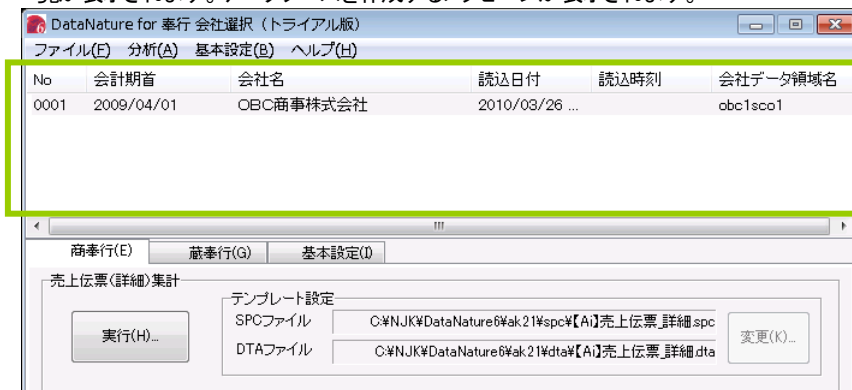
- 2 [OK]ボタンをクリックし、データソースを作成します。

▼データソース作成後、[DataNature for 奉行会社選択]の再起動を促すメッセージが表示されます。



- 3 [OK]ボタンをクリックし、[DataNature for 奉行会社選択]を再度起動してください。

▼[DataNature for 奉行会社選択] (トライアル版) 画面が起動し、会社選択領域にご使用の奉行で管理されている会社データの一覧が表示されます。データソースを作成するメッセージが表示されます。



データソースの作成を行なうと、Windows の[コントロールパネル]-[管理ツール]-[データソース(ODBC)]をクリックして表示される[ODBC システムアドミニストレータ]ダイアログボックスの[ユーザーDSN]タブに、『NJK DATANATURE A21』、または、『NJK DATANATURE AKV』という名称のデータソースが追加されます。



データソースの作成作業中にエラーが表示された場合は、「1-7 エラーと対処方法」(P.25)を参照してください。

1-6 テンプレートの再インストール

DataNaturefor 奉行のテンプレートファイルを再インストールします。

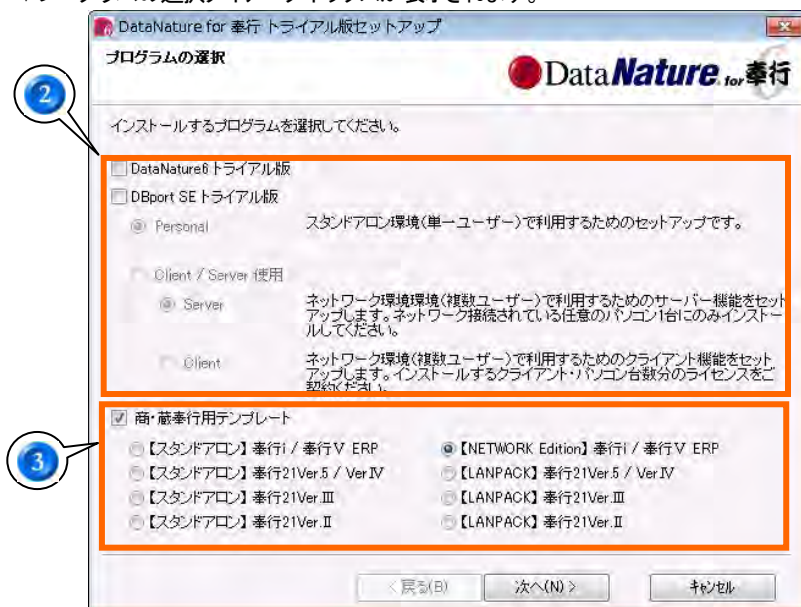
インストール時に選択したテンプレートのバージョンが間違っていた場合や、テンプレートファイルを削除してしまった場合など、テンプレートを初期状態に戻すことができます。

- 1 DataNature for 奉行 トライアル版のインストールプログラムが展開された「DN6Ak(R05)_Trial」フォルダを開き、[Setup.exe]を起動します。

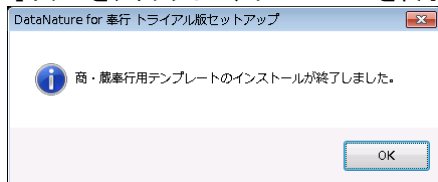


すでに「DN6Ak(R05)_Trial」フォルダを削除された場合は、お手数ですが、再度トライアル版をダウンロードください。

▼プログラムの選択ダイアログボックスが表示されます。



- 2 インストールするプログラムを選択します。
「DataNature6」および「DBportSE」についてはインストールの必要はありませんので、チェックを外します。
- 3 次に「商・蔵奉行用テンプレート」にチェックオンし、現在お使いの奉行シリーズのバージョンを選択します。
- 4 奉行シリーズのバージョンの指定を確認し、間違いがなければ[次へ]ボタンをクリックします。
- 5 商・蔵奉行用テンプレートのインストールが開始され、完了すると次のメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックして、インストールを終了します。



以上で、テンプレートのインストール作業は完了です。

1-7 エラーと対処方法

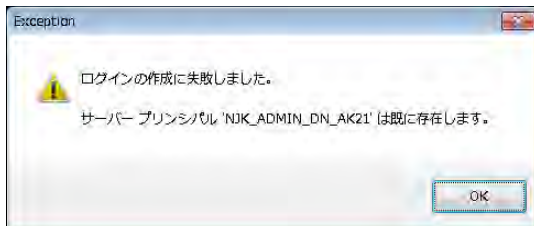
DataNature6 for 奉行トライアル版で表示されるエラーメッセージとその対象方法です。



対処方法を行っても現象が回避されない場合、または、この章に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、下記アドレスまでご連絡ください。

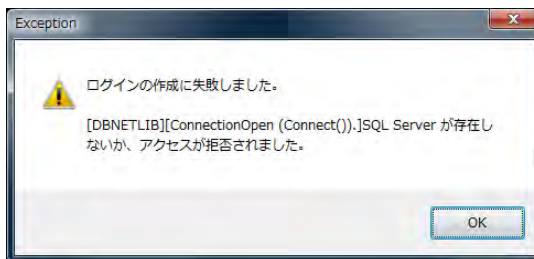
DataNature@njkc.co.jp

1) ログイン ID のセットアップで想定されるエラーメッセージと対処方法



既にログイン ID のセットアップが行なわれている環境で実行した場合に表示されます。

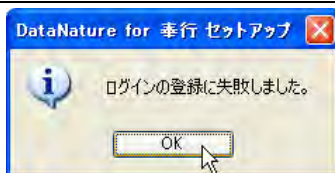
このまま次のステップに進むか、または、一旦ログイン ID を削除してから、再度ログイン ID のセットアップを行ってください。ログイン ID の削除手順は「2-2 ログイン ID の削除」(P.30)を参照ください。



ネットワーク対応版の奉行シリーズをご利用にもかかわらず、クライアント PC でログイン ID のセットアップを実行した場合に表示されます。

ネットワーク対応版の奉行シリーズをご利用の場合は、奉行サーバーがインストールされているサーバー PC で作業を行なう必要があります。「1-3 ログイン ID のセットアップ」(P.19)の手順をご確認ください。

2) データソースの作成で想定されるエラーメッセージと対処方法



以下の A)、B)、いずれかの原因が考えられます。

A) 奉行シリーズがインストールされていない

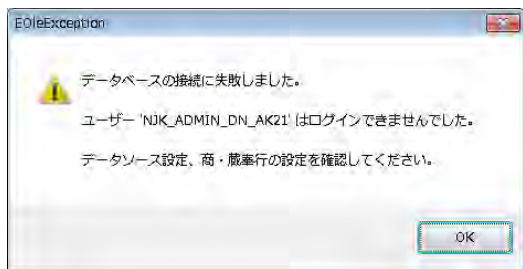
DataNature for 奉行を利用するためには、使用する PC に奉行シリーズ(ネットワーク対応版の場合は、奉行クライアント)がインストールされている必要があります。

「2-2 必要なシステム環境」(P.4)をご確認の上、奉行シリーズをインストール済みの PC で作業を行ってください。

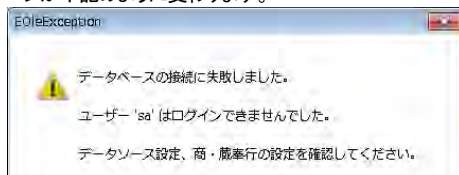
B) 奉行シリーズのバージョンとインストールしたテンプレートのバージョンが異なる

「1-2 プログラムのインストール」(P.10)の手順④で選択した奉行シリーズのバージョンが、ご利用のものとは異なる場合、テンプレートの設定に失敗します。

「1-6 テンプレートの再インストール」(P.24)を参考に、テンプレートファイルを再インストールしてください。



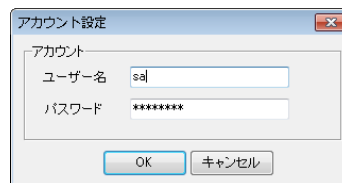
奉行 21 Ver. II、または、奉行 21 Ver. III をご利用の場合は、メッセージが下記のように変わります。



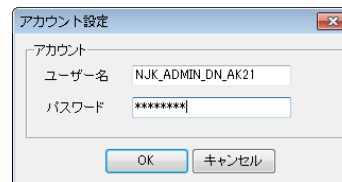
以下の A)、B)、C) のいずれかの原因が考えられます。

- A) 奉行シリーズのデータベース(SQL Server)へアクセスするためのパスワードが設定されている場合
次の方法で、テンプレートファイルのアカウント設定を修正します。

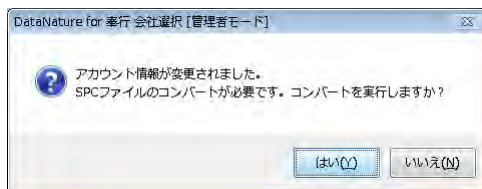
- ▼ [DataNature6 for 奉行]を“管理者モード”で起動します。“管理者モード”での起動については、「1.会社選択画面の構成と機能」(P.34)を参照ください。
- ▼ メニューバー[基本設定]-[アカウント設定]をクリックします。
- ▼ ◎奉行 21 Ver. II、または、奉行 21 Ver. III をご利用の場合
ユーザー名欄に『sa』、パスワード欄に奉行シリーズで設定されている、ユーザー『sa』に対するパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



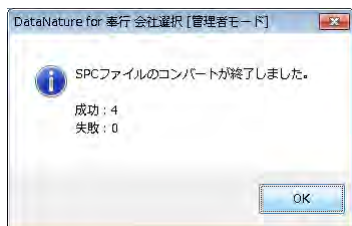
- ◎上記以外の奉行シリーズをご利用の場合
ユーザー名欄に『NJK_ADMIN_DN_AK21』、パスワード欄に、「1-3ログインIDのセットアップ」の手順⑤(P.20)で指定したパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



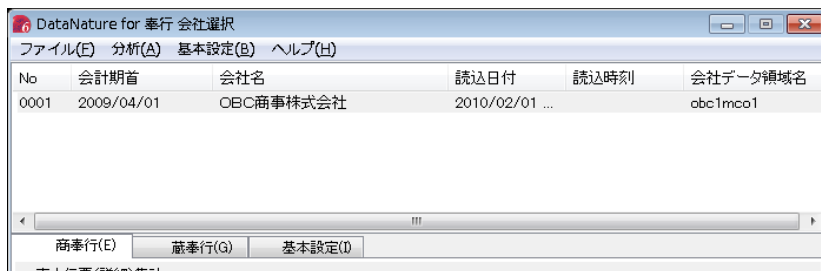
- ▼ 次のメッセージが表示されます。



- ▼ [はい]ボタンをクリックして、SPC ファイルのコンバートを実行します。



- ▼ コンバート処理終了のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします
- ▼ [会社データの更新]ボタンをクリックします。
- ▼ 会社情報が表示されます。



B) ログインIDのセットアップを行っていない場合

奉行 i、奉行 V ERP、奉行 21 Ver.IV / 5 をご利用の場合で、「1-3 ログインIDのセットアップ」(P.19)を行っていない方は、再度「1-1 導入の流れ」(P.8)をご確認の上、マニュアルの指示通りに作業を行なってください。

C) [DataNature6 for 奉行 会社選択]画面の[基本設定]機能タブで指定されている情報に誤りがある場合

◆ 「商・蔵奉行のバージョン」、または、「商・蔵奉行の製品タイプ」の選択が誤っている

「1-2 プログラムのインストール」(P.10)の手順④で選択した奉行シリーズのバージョンが誤っていたと思われます。

「1-6 テンプレートの再インストール」(P.24)を参考に、テンプレートファイルを再インストールしてください。

◆ 「サーバー情報」、または、「SQL Server へのログイン」が誤っている

設定を修正する必要があります。[DataNature6 for 奉行 会社選択]画面を[閉じる]ボタンで終了してから、再度[DataNature6 for 奉行]を“管理者モード”で起動し、修正します。“管理者モード”での起動については、「1.会社選択画面の構成と機能」(P.34)を参照ください。



[サーバー情報]欄のサーバー名は、ご利用の奉行シリーズの製品タイプにより異なります。

【スタンドアロン版】

○奉行 V ERP、奉行 i :「¥OBCINSTANCE2X」

○奉行 21 Ver.IV/5 :「¥OBCINSTANCE2X」

○奉行 21 Ver. II / III :「」(半角ピリオド)

【ネットワーク対応版】

「1-1 導入の流れ」(P.9)で確認した内容

2. プログラムのアンインストール

2-1 プログラムのアンインストール

DataNature6 for 奉行 トライアル版をアンインストールします。



DataNature for 奉行 トライアル版インストール時にセットアップされる専用のアンインストールプログラムを使って、DataNature for 奉行 トライアル版を削除します。アンインストールプログラムを使わずに、インストールされたファイルを削除するなどの方法をとると、その後のパーソナルコンピュータの動作は保証されませんのでご注意ください。

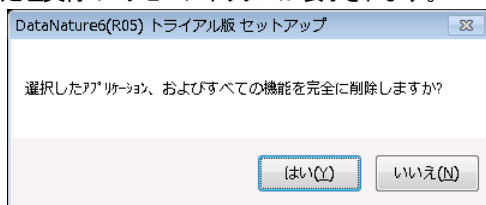
- 1 [スタート] – [設定] – [コントロールパネル]をクリックして、コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

▼[プログラムの追加と削除]ダイアログボックスが表示されます。



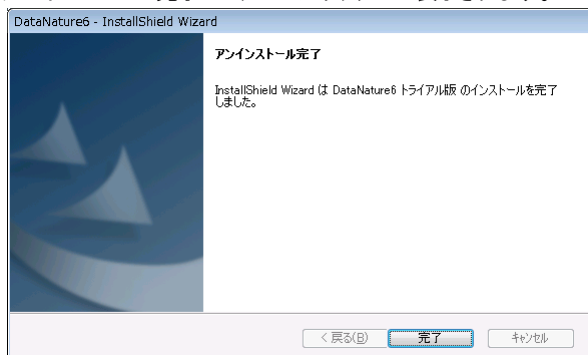
- 2 はじめに[DataNature6 トライアル版]を選択し、アンインストールを実行します。

▼処理実行のメッセージボックスが表示されます。



- 3 [はい]をクリックして実行します。

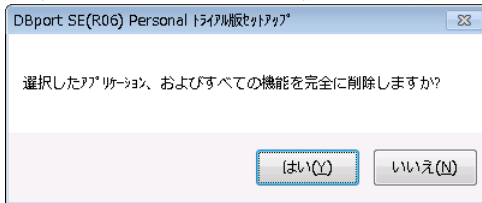
▼アンインストール完了のメッセージボックスが表示されます。



- 4 [完了]ボタンをクリックして、DataNature6 のアンインストールを完了します。

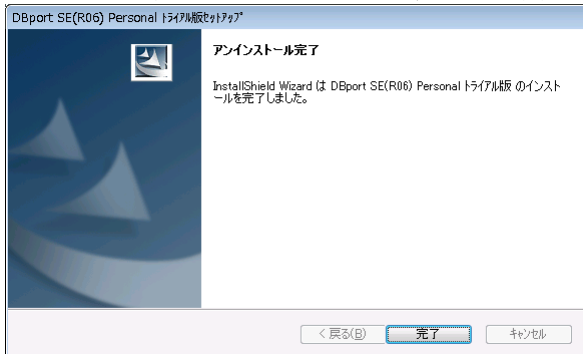
- 5 続いて、[DBportSE Personal トライアル版]を選択し、アンインストールを実行します。

▼処理実行のメッセージボックスが表示されます。



6 [はい]をクリックして実行します。

▼アンインストール完了のメッセージボックスが表示されます。



7 [完了]ボタンをクリックして、DBportSE Personal のアンインストールを完了します。

8 最後に、デスクトップ上に残っている[DataNature6 for 奉行 会社選択]のショートカットアイコンを削除して、プログラムのアンインストールは完了です。



上記の手順で DataNature6 for 奉行トライアル版のプログラムはアンインストールされますが、次のフォルダは残ります。不要な場合は、別途フォルダの削除を実行してください。

- C:\%NJK%\DataNature6
 - C:\DocumentsandSettings\%ログオンユーザー名%\MyDocuments\DBportSE[※]
 - その他、「インストール後のフォルダ構成について」(P.5)をご覧ください。
- ※: Windows 7 / Vista では、「C:\Users\%ログオンユーザー名%\Documents\DBportSE」となります。



プログラムのアンインストールを行わずに、上記フォルダ等を削除すると、その後のパーソナルコンピュータの動作は保証されません。フォルダ等の削除は、必ず、プログラムのアンインストール後に行ってください。

2-2 ログイン ID の削除

奉行シリーズのデータベース(SQL Server)へアクセスするために追加した、DataNature6 for 奉行用のユーザー『NJK_ADMIN_DN_AK21』を削除します。



スタンドアロン版の奉行シリーズをご利用のお客様

ログイン ID の削除は、Administrator 権限のあるユーザー ID でログインした状態で行なってください。



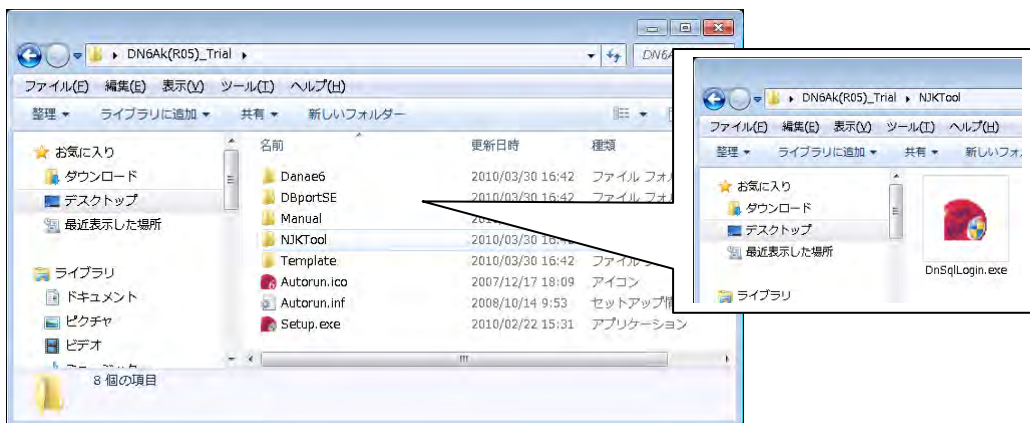
ネットワーク対応版の奉行シリーズをご利用のお客様

ログイン ID の削除は、奉行サーバーがインストールされているサーバー PC で行なう必要があります。トライアル版プログラムをダウンロードした PC のデスクトップに展開された「DN6Ak(R05)_Trial」-「NJKTool」にある「DnSqlLogin.exe」をコピーし、サーバーで作業を行ないます。

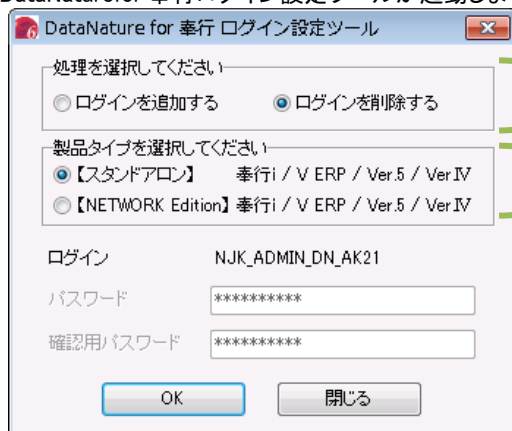
- 1 トライアル版プログラムをダウンロードした PC のデスクトップに展開された「DN6Ak(R05)_Trial」-「NJKTool」を開きます。



すでに「DN6Ak(R05)_Trial」フォルダを削除された場合は、お手数ですが、再度トライアル版をダウンロードください。



- 2 [DnSqlLogin.exe]をダブルクリックします。
▼DataNaturefor 奉行ログイン設定ツールが起動します。



- 3 [処理を選択してください]欄で、「ログインを削除する」を選択します。
- 4 次に、[製品タイプを選択してください]欄で、ご利用の奉行シリーズの製品タイプを、「スタンドアロン」、または、「NETWORK Edithion」から選択します。



製品のタイプは、以下を参考に選択してください。

【スタンドアロン】

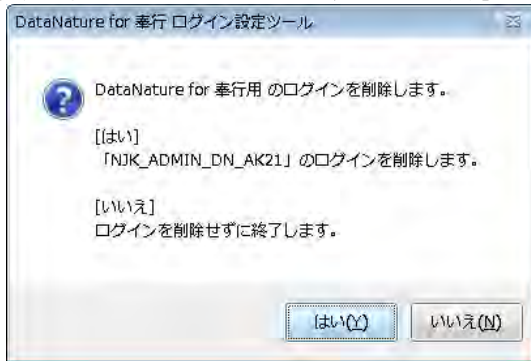
奉行 i スタンドアロン / 奉行 V Single Edition / 奉行 21 シリーズのスタンドアロン版

【NETWORK Edition】

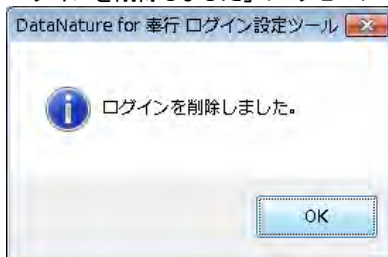
奉行 i NETWORK Edition / 奉行 V Standard Edition / 奉行 21 シリーズの LANPACK 版

- 5 設定が完了したら[OK]ボタンをクリックします。

▼設定確認のダイアログボックスが表示されます。[はい]ボタンをクリックします。

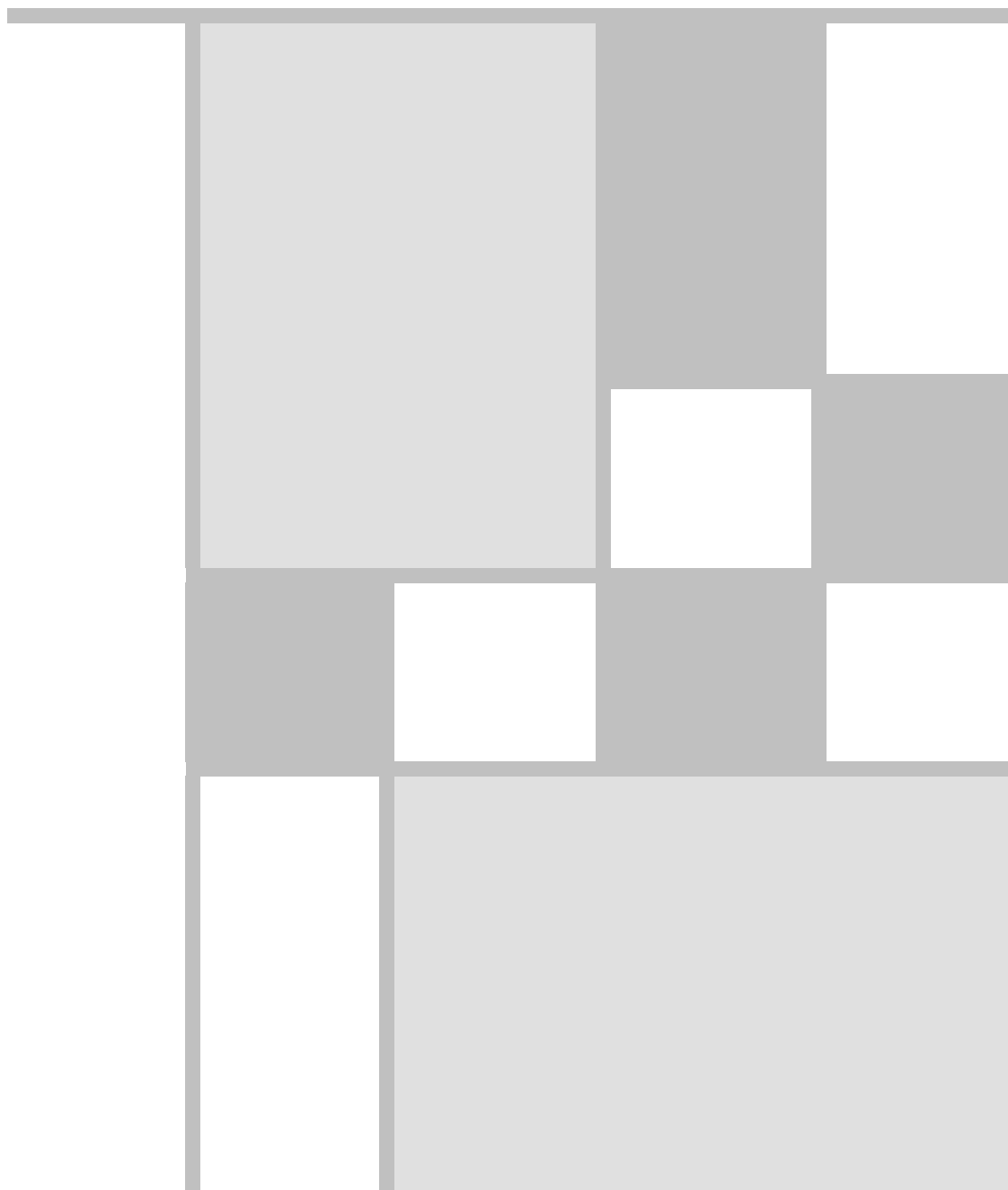


▼「ログインを削除しました」のメッセージボックスが表示されます。



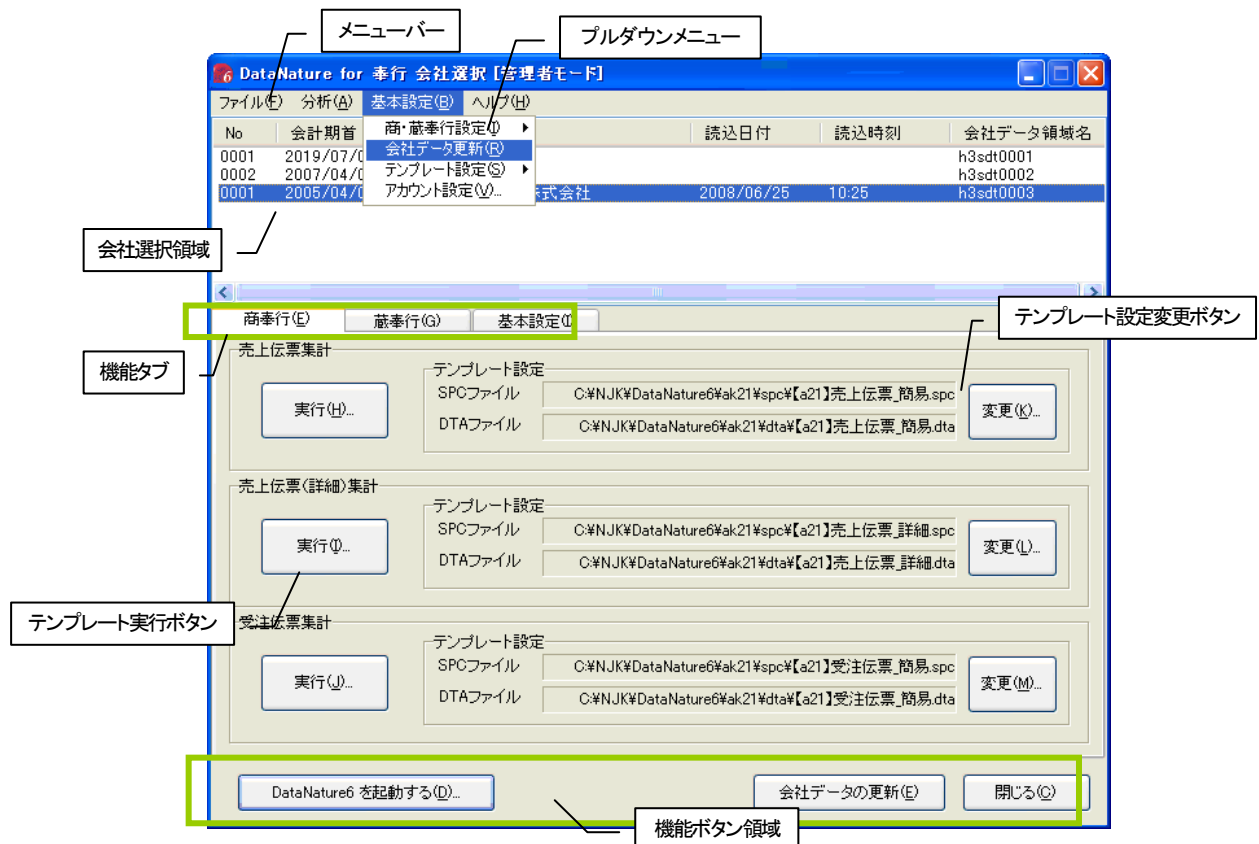
- 6 [OK]ボタンをクリックしてログインの削除を完了します。

III DataNature for 奉行 の活用



Data***Nature***[®] for 奉行

1. 会社選択画面の構成と機能



[DataNature for 奉行 会社選択]画面には、“管理者モード”と“ユーザーモード”があります。ご使用のPCにWindowsのAdministrator権限ユーザーでログインしている場合は、常に“管理者コード”で起動されます*が、それ以外では“ユーザーモード”で起動されます。

なお“ユーザーモード”では、初期設定や設定内容の編集に関する機能が利用できません。ご注意ください。

*:Windows 7/Vista の場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしていても、“ユーザーモード”で起動することがあります。

▼“管理者モード”の画面

No	会計期首	会社名	読
0001	2007/04/01	OBC商事 株式会社	20
9999	2008/04/01	株式会社エヌジェーケー	

▼“ユーザーモード”の画面

No	会計期首	会社名	読
0001	2007/04/01	OBC商事 株式会社	20
9999	2008/04/01	株式会社エヌジェーケー	



“管理者モード”で起動するには…

Administrator 権限ユーザーでログインしなおしていただくか、または、以下の方法で[DataNature6 for 奉行 会社選択]画面を起動してください。

【Windows7/ Vista の場合】

デスクトップの[DataNature6 for 奉行 会社選択]アイコン上で右クリックし、[管理者として実行]から起動します。

【WindowsXP/2000 の場合】

デスクトップの[DataNature6 for 奉行 会社選択]アイコン上で右クリックし、[別のユーザーとして実行]から Administrator 権限のあるユーザーで実行します。



ご利用の商奉行/蔵奉行のバージョンによって、[DataNature6 for 奉行 会社選択]画面に表示されるテンプレートの内容が異なります。ご注意ください。

■メニューバー

DataNature for 奉行 会社選択画面の各種機能を実行するためのメニューを表示する領域です。クリックするとプルダウンメニューが表示されます。

ファイル(F)	DataNature6(D)...	テンプレートの読み込みを行わず、DataNature6を起動します。
	システム情報(S)...	DataNature for 奉行で設定されているシステム情報ファイルを出力します。
	終了(X)	DataNature for 奉行 会社選択画面を閉じ、DataNature for 奉行を終了します。
分析(A)	商奉行(C)	商奉行データの分析を実行します。[商奉行]機能タブで指定されている集計方法から選択できます。
	蔵奉行(G)	蔵奉行データの分析を実行します。[蔵奉行]機能タブで指定されている集計方法から選択できます。
基本設定(B)	商・蔵奉行設定(I)	DataNature for 奉行で活用する商・蔵奉行の[バージョン(V)]と[製品タイプ(T)]を指定します。管理者モードでのみ利用できます。
	会社データ更新(R)	設定された内容に従い、商・蔵奉行の会社データを更新取得します。
	テンプレート設定(S)	アカウント設定や保存先などを変更した場合に、環境をコンバートするための機能です。[SPC ファイルのコンバート(T)]と[DTA ファイルのコンバート(U)]があります。管理者モードでのみ利用できます。
	アカウント設定(V)...	SQLServer にアクセスするためのユーザー名/パスワードを変更するためのダイアログボックスを表示します。管理者モードでのみ利用できます。
ヘルプ(H)	バージョン情報(D)...	現在使用している DataNature for 奉行のバージョンの詳細情報を記載した[バージョン情報]メッセージボックスを表示します。

■会社選択領域

商・蔵奉行で登録されている会社データの一覧を表示し、テンプレートを実行する会社データを、会計期首や会社名を確認して切り替えることができます。

No	会計期首	会社名	読込日付	読込時刻	会社データ領域名
0001	2005/04/01	〇〇〇商事 株式会社	2008/06/25	10:25	h3sdt0003
0002	2008/04/01	株式会社エヌジェーケー			h3sdt0004
0001	2006/04/01	株式会社エヌジェーケー			h3sdt0001

■機能タブ

機能タブは[商奉行(E)]、[蔵奉行(G)]、[基本設定(I)]タブで構成されています。

■[商奉行(E)]タブ

商奉行で入力した“売上傳票”や“受注伝票”の分析を実行する画面です。標準では、「売上傳票集計」、「売上傳票(詳細)集計」、「受注伝票集計」がセットされていますが、内容を変更することも可能です。

商奉行(E) 蔵奉行(G) 基本設定(I)

売上傳票集計

実行(E)...

テンプレート設定

SPCファイル C:\NJK\DataNature6\ak21\spc#a21\売上傳票_簡易.spc 変更(K)...

DTAファイル C:\NJK\DataNature6\ak21\dta#a21\売上傳票_簡易.dta



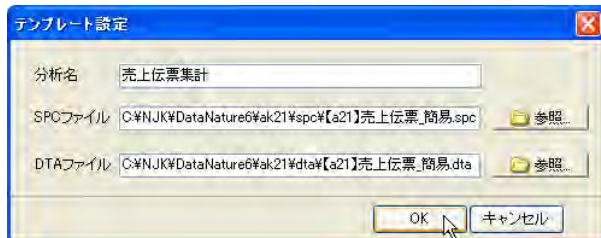
ご利用の奉行シリーズのプロダクトが「奉行 i」、または「商奉行 V ERP」の場合は、「売上傳票集計」と「受注伝票集計」のみがセットされます。

[実行(H)]ボタン

指定されたテンプレートを、会社選択領域で選択されている会社データをもとに実行し、テンプレート一覧画面を表示します。

[変更(K)]ボタン

[テンプレート設定]ダイアログボックスを表示します。なお、管理者モードでのみ利用できます。



[分析名]: タイトルを入力します。

[SPC ファイル]: データ抽出用のテンプレートファイル(*.spc)を、[参照]ボタンをクリックして指定します。

[DTA ファイル]: 集計表やグラフを表示するためのテンプレートファイル(*.dta)を、[参照]ボタンをクリックして指定します。

■ [蔵奉行(G)]タブ

蔵奉行で入力した“仕入伝票”や“発注伝票”の分析を実行する画面です。標準では、「仕入伝票集計」、「仕入伝票(詳細)集計」、「発注伝票集計」がセットされていますが、内容を変更することも可能です。

使い方は、[商奉行(E)]タブと同じです。



ご利用の奉行シリーズのプロダクトが「奉行 i」、または「商奉行 V ERP」の場合は、「仕入伝票集計」と「発注伝票集計」のみがセットされます。

■ [基本設定(I)]タブ

分析対象の商・蔵奉行のバージョンや製品タイプ、サーバー名などの基本情報を設定します。使い方の詳細は、第II章インストールとアンインストール「1-4 基本設定」(P.21)を参照ください。なお、管理者モードでのみ利用できます。

■ 機能ボタン領域

機能ボタンは[DataNature6 を起動する(D)...]、[会社データの更新(E)]、[閉じる(C)]の 3 種類です。どの機能タブを表示していても変わりません。



■ [DataNature6 を起動する(D)]ボタン

テンプレートを使用せずに、DataNature6 を起動します。商・蔵奉行のデータの読み込みも行いませんので、奉行シリーズ以外の、Excel や Access などのアプリケーションで保存されているデータの活用が可能です。

■ [会社データの更新(E)]ボタン

[基本設定]機能タブで指定した内容で、会社データを更新します。

■ [閉じる(C)]ボタン

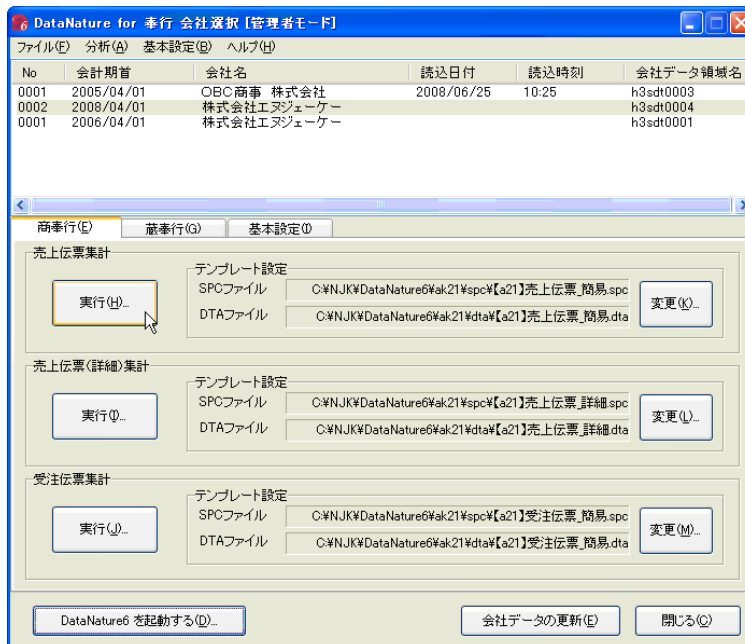
DataNature for 奉行 会社選択画面を閉じます。

2. テンプレートの活用

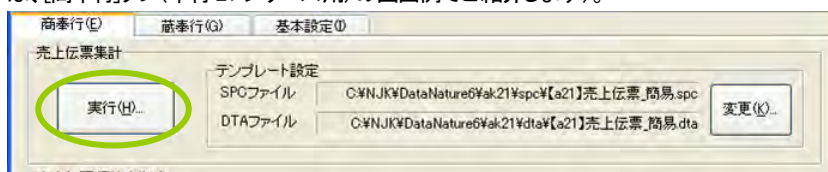
2-1 テンプレートの実行

DataNature for 奉行のテンプレートは、次の手順で実行します。

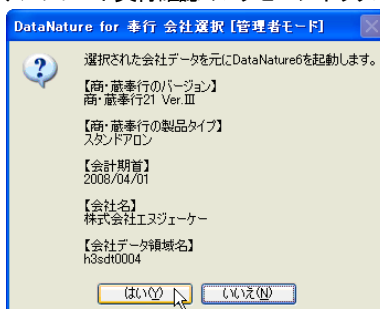
- 1 デスクトップ上に表示された[DataNature for 奉行 会社選択]のショートカットアイコンをクリックします。
▼[DataNature for 奉行 会社選択]画面が起動します。



- 2 分析したい対象の会社データを[会社選択領域]から選択します。
[会社選択領域]に何も表示されていない場合は、[会社データの更新]ボタンをクリックし、会社データを更新します。
- 3 続いて、テンプレートを実行したい、奉行シリーズを選択します。
売上伝票や受注伝票で入力した商奉行のデータの場合には[商奉行]タブを、仕入伝票や発注伝票で入力した蔵奉行のデータの場合には[蔵奉行]タブをクリックしてください。
▼ 選択した[商奉行]タブ、または、[蔵奉行]タブに指定されているテンプレートの一覧が表示されます(このマニュアルでは、[商奉行]タブ(奉行 21 シリーズ用)の画面例でご紹介します)。



- 4 実行したい目的のテンプレート名領域にある[実行]ボタンをクリックして、テンプレートを実行します。
▼テンプレート実行確認のメッセージボックスが表示されます。



- 5 [はい]ボタンをクリックすると、指定した情報に従って、テンプレートを実行します。
- ▼ 指定したテンプレートが実行され、自動的に対象の奉行シリーズから分析に必要なデータを DataNature へ抽出し、下図のようなテンプレートメニュー(DataNature6 テーマメニュー)画面が表示されます。

【テーマ一覧】領域
分析カテゴリを選択します。

- ① 期間別集計
- ② 担当別集計
- ③ 得意先別集計
- ④ 商品別集計
- ⑤ ②～④を統合したもの
(商・蔵奉行I / V ERP では、①～④を統合したもの)

の5種類で構成されています。
対象の分析カテゴリボタンをクリックすると、そのカテゴリに登録されているテンプレートの一覧が画面右側に表示されます。

【定型一覧】領域
実行する定型テンプレート名のボタンをクリックして選択します。
ここに表示される内容は、左側の【テーマ一覧】領域で選択された分析カテゴリによって異なります。
テンプレート名のボタンをクリックすると、自動的に画面が切り替わり、テンプレートとして登録されている集計表やグラフの画面が表示されます。

- 6 画面左側に表示されている【テーマ一覧】領域から、目的の分析カテゴリのボタンをクリックして選択します。
- ▼ 選択した分析カテゴリに搭載されているテンプレートの一覧が、画面右側【定型一覧】領域に表示されます。
- 7 次に、【定型一覧】領域から、実行したいテンプレートのボタンをクリックします。
- ▼ 指定したテンプレートが実行され、画面が表示されます。



表示されたテンプレート画面の印刷や、他のアプリケーションへの出力方法については、DataNature for 奉行トライアル版をインストールされた PC の、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DataNature6 トライアル版]-[Manual]-[DataNature6 入門マニュアル]から表示される「DataNature6 入門マニュアル.pdf」の第IV章 基本操作「4 印刷/出力機能」を参照ください。

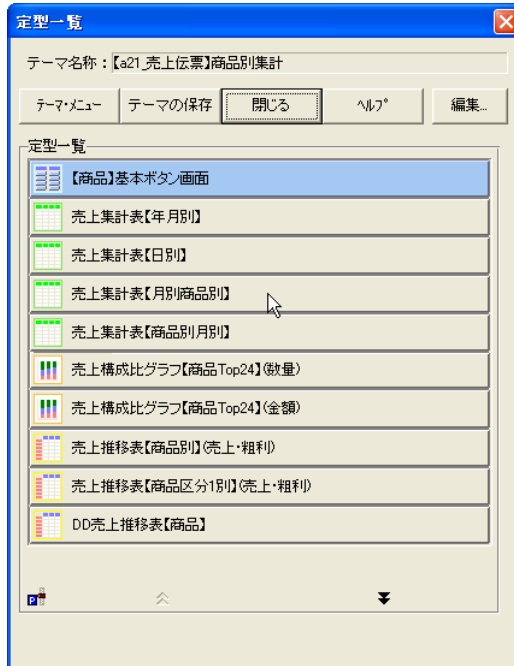
2-2 テンプレート一覧の呼び出し

DataNature for 奉行のテンプレートを実行した後で、他のテンプレートを実行する場合は、以下の手順でテンプレート一覧画面を呼び出すことができます。

- 1 ボタン画面/ビュー画面/リスト画面/グラフ画面上にある、[定型一覧]アイコンをクリックします。



▼[定型一覧]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 定型一覧領域から、実行したいテンプレートのボタンをクリックします。

▼ 指定したテンプレートが実行され、画面が表示されます。



印刷プレビュー画面を表示している場合は、[閉じる]ボタンで印刷プレビューを終了してから、上記の手順を行ってください。

なお、ソースデータ画面が表示されている場合は、[テーマ・メニュー]アイコンをクリックすると、P.38の手順⑤と同じテンプレートメニュー画面が表示されます。



テーマ・メニュー

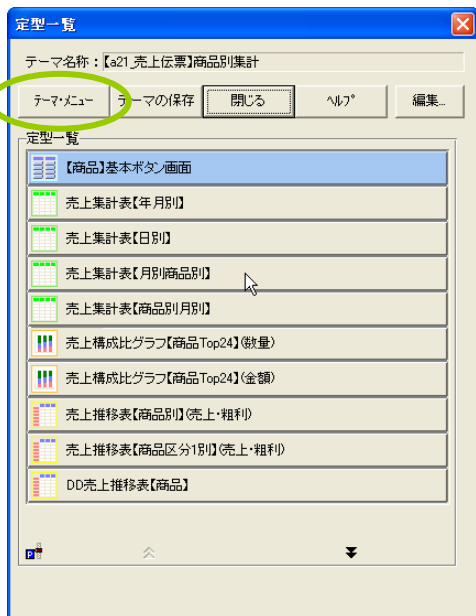
2-3 分析カテゴリの切り替え

DataNature for 奉行のテンプレートを実行した後で、他の分析カテゴリに搭載されているテンプレートを実行する場合は、以下の手順でテンプレートメニュー画面を呼び出します。

- 1 ボタン画面/ビュー画面/リスト画面/グラフ画面上にある、[定型一覧]アイコンをクリックします。

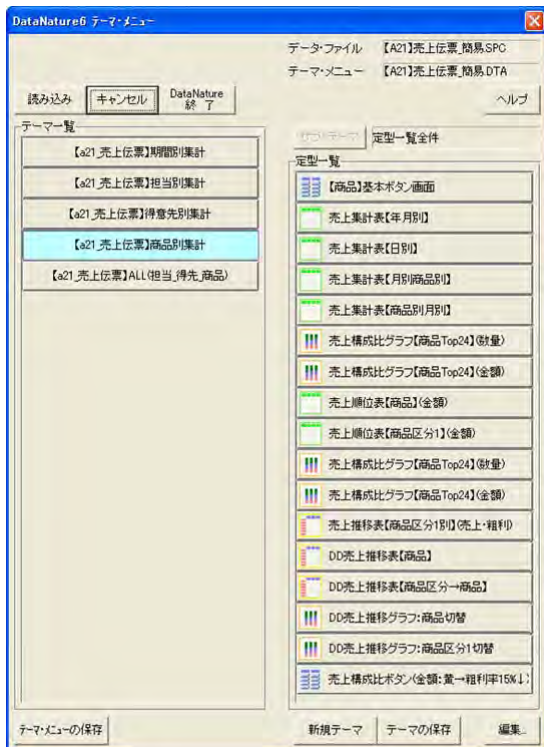


▼[定型一覧]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [テーマ・メニュー]ボタンをクリックします。

▼ DataNature for 奉行テンプレートメニュー (DataNature6 テーマ・メニュー)画面が表示されます。



- 3 画面左側に表示されている[テーマ一覧]領域から、目的の分析カテゴリのボタンをクリックして切り替え、右側に表示されるテンプレート一覧から、実行したいテンプレートボタンを選択して実行します。

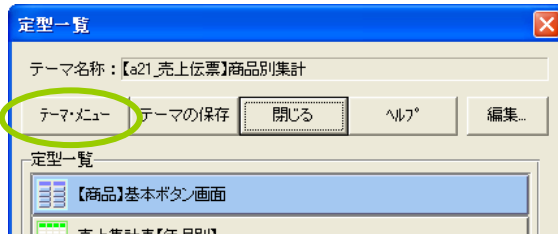
2-4 テンプレートの終了

DataNature for 奉行のテンプレートを終了します。

- 1 ボタン画面/ビュー画面/リスト画面/グラフ画面上にある、[定型一覧]アイコンをクリックします。

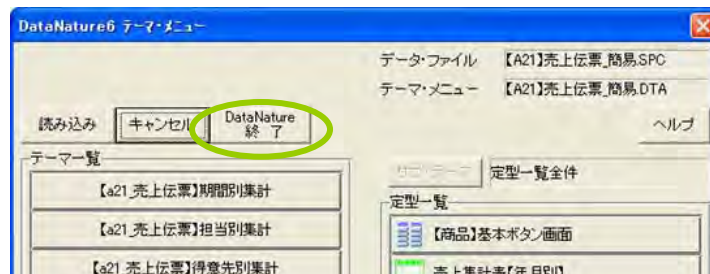


▼[定型一覧]ダイアログボックスが表示されます。



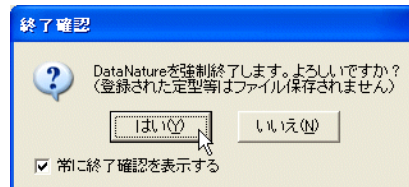
- 2 [テーマ・メニュー]ボタンをクリックします。

▼ DataNature for 奉行テンプレートメニュー (DataNature6 テーマ・メニュー)画面が表示されます。



- 3 [DataNature 終了]ボタンをクリックします。

▼ 終了確認のメッセージボックスが表示されます。



- 4 [はい]ボタンをクリックします。

▼ テンプレート画面が閉じ、DataNature for 奉行 会社選択画面に戻ります。



上記の手順の他、以下の方法でも終了することができます。

■ ソースデータ画面のメニューバー[ファイル]-[終了]をクリックする

DataNature6 のソースデータ画面のメニューバーの[ファイル]-[終了]をクリックするか、タイトルバー右上の[×]ボタンをクリックします。この手順で終了を実行した場合、[ファイル保存の確認]メッセージボックスが表示される場合があります。[ファイル保存確認]メッセージボックスについては、次ページの注意欄をご覧ください。

■ ボタン/リスト/ビュー/グラフ画面に[強制終了]アイコンを表示する

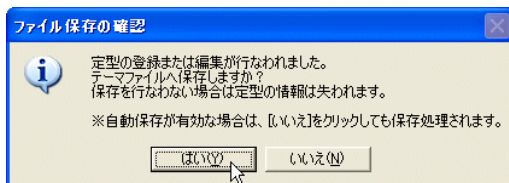
ソースデータ画面のメニューバー[ツール]-[オプション]をクリックして表示される[オプション]ダイアログボックス内の[機能ボタン設定]タブで、各画面に[強制終了]アイコンを表示するよう選択します。



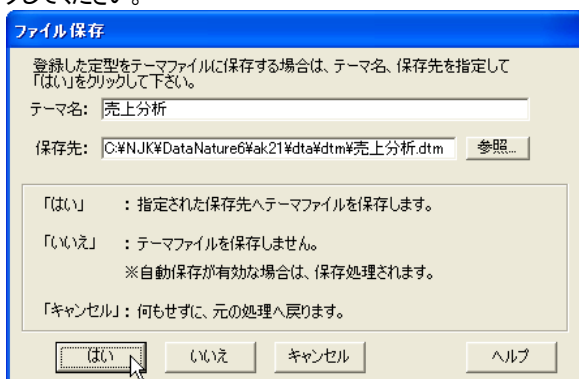
既存のテンプレートに変更を加えたり、新しいテンプレートを追加登録した場合に DataNature の終了を実行すると、[ファイル保存の確認]メッセージボックスが表示されます。保存を実行すると、登録した定型テンプレートを専用の「テーマファイル(*.dtm)」に保存することができます。必要に応じてファイルの保存処理を行なってください。

なお、テンプレートの編集や登録の方法については、P.45～47 を参照ください。

- 1 [ファイル保存の確認]メッセージボックスで、[はい]をクリックします。



- 2 [ファイル保存]ダイアログボックスが表示されます。保存する場合は、[テーマ名]テキストボックスに、任意のファイル名を入力します。必要に応じて[保存先]を[参照]ボタンから変更して、よろしければ[はい]ボタンをクリックしてください。



定型の自動保存を適用している場合には、手順①および②において、[いいえ]ボタンをクリックしても、自動保存先に指定されたフォルダへテーマファイル(*.dtm)が保存されます(定型の自動保存の設定については、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DataNature6 トライアル版]-[Manual]-[DataNature6 入門マニュアル]から表示される「DataNature6 入門マニュアル.pdf」の「定型自動保存の設定」を参照ください)。また、ボタン画面、ビュー画面、リスト画面、グラフ画面、テーマ・メニュー画面の[強制終了]アイコンで、強制的に DataNature6 を終了するときには、ファイル保存の確認が行なわれません。ご注意ください。

2-5 便利な機能

ここでは、必須ではありませんが、知っておくと便利な機能について記述します。

■ [ボタン分割]機能を利用したテンプレートの実行

“ボタン分割”機能とは、登録した定型を、指定したデータに限定して実行する機能です。

例えば、[売上順位表【担当者】(金額)]のテンプレートをそのまま実行した場合は、読み込まれた全てのデータを対象に集計されますが、ある特定の月だけの実績を確認したいときには、<売上年月>ボタンクラスを分割して、目的の月のデータボタンを選択してからテンプレートを実行すると、その対象月のデータで集計した結果を確認することができるようになります。

この方法を利用すれば、ひとつのテンプレートを好みの視点から実行していただくことができるので、更にテンプレートの活用の幅が広がります。

なお、分割できるのはひとつのボタンクラス(項目)のみです。



【事前準備】

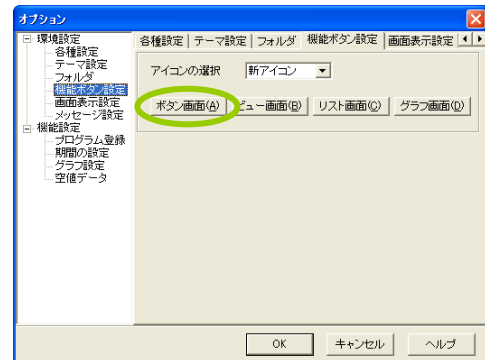
ボタン分割を行なうには、事前にボタン画面へ[ボタン分割]アイコンを表示するための設定が必要です。

《[ボタン分割]アイコンの表示方法》

- ▼ DataNature for 奉行 会社選択画面の下部にある[DataNature6 を起動する(D)]ボタンをクリックします。
- ▼ DataNature6 が起動し、メインメニューが表示されます。
- ▼ メニューバーの[ツール]-[オプション]をクリックします。

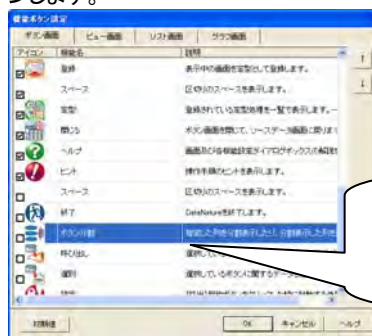


- ▼ [オプション]ダイアログボックスで、[環境設定]-[機能ボタン設定] (または[機能ボタン設定]タブ)をクリックします。



- ▼ [ボタン画面(A)]ボタンをクリックします。

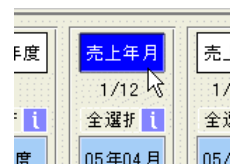
- ▼ 表示された[機能ボタン設定]ダイアログボックスの[ボタン画面]タブで[ボタン分割]アイコンにチェックオンします。



※[↑]/[↓]ボタンを利用して、表示する位置を編集することも可能です

- ▼ [OK]ボタンをクリックして、[機能ボタン設定]ダイアログボックスを終了します。
- ▼ [OK]ボタンをクリックして、[オプション]ダイアログボックスを終了します。
- ▼ メニューバー[ファイル]-[終了]をクリックして、DataNature6 を終了します。

- 1 ボタン画面で、<売上年月>ボタンクラスを選択します。
▼選択した<売上年月>ボタンクラスが青色の反転表示になります。



- 2 [ボタン分割]アイコンをクリックします。
▼選択した<売上年月>ボタンクラスが分割表示されます。



- 3 分割された<売上年月>ボタンクラスから<05 年 07月>データボタンをクリックして選択します。



- 4 続けて、[定型一覧]アイコンをクリックします。



- 5 <売上順位表[得意先]>の定型ボタンをクリックして実行します。

▼指定した<7月>のデータだけを対象に、得意先名 1 別の売上順位表が実行されました。

得意先名1	数量	売上明細金額	原明細金額	粗利益	粗利率
株式会社 広島興産	60,060	5,464,178	4,440,860	1,023,318	18.73%
株式会社 千葉デンキ	68	5,167,600	4,449,880	717,720	13.89%
株式会社 岩手産業	59	4,188,050	3,508,000	680,050	16.24%
名古屋電機商事 株式会社	33	3,812,000	3,348,040	463,960	12.17%
埼玉商事 株式会社	39	3,771,020	3,200,880	570,140	15.12%
株式会社 福岡屋	23	3,122,000	2,425,200	696,800	22.32%
太平洋食品 株式会社	4,666	3,084,968	2,368,740	716,228	23.16%
東京事務機販売 株式会社	27,510	2,754,900	2,189,000	565,900	20.54%
テック高松 株式会社	44	2,368,880	1,974,880	414,000	17.33%
株式会社 鹿児島文具	52,030	1,738,499	1,349,500	388,999	22.38%
福田商事 株式会社	26	1,570,000	1,408,340	161,660	10.30%
群馬事務機 株式会社	43,700	1,275,000	1,015,000	260,000	20.39%
高松屋百貨店	87	1,245,000	1,006,000	239,000	19.20%
石川食品 株式会社	3,800	1,158,250	875,950	282,300	24.37%
神奈川物産 株式会社	2,626	1,066,600	837,900	228,700	21.44%
新宿フラー	93	922,200	595,000	327,200	35.48%
大阪食品 株式会社	2,176	833,240	543,140	290,100	34.82%
京都システム 株式会社	1,392	545,200	429,200	116,000	21.28%
新潟工業 株式会社	2	475,000	416,000	59,000	12.42%
T-SHOP厚宿	336	459,000	399,900	59,700	13.01%
(合計)	198,770	45,041,585	36,720,810	8,320,775	18.47%

売上トップの得意先名や、実績値が各月により異なることが分かります。

同じ定型を<5月>で実行した例

得意先名1	数量	売上明細金額	原明細金額	粗利益	粗利率
株式会社 千葉デンキ	77	6,347,912	5,464,920	882,992	13.91%
埼玉商事 株式会社	42	4,012,550	3,395,880	616,670	15.37%
株式会社 広島興産	62,903	4,011,365	3,198,220	813,145	20.27%
株式会社 岩手産業	56	3,786,500	3,089,380	697,120	18.41%
株式会社 福岡屋	21	3,200,000	2,506,000	694,000	21.69%
名古屋電機商事 株式会社	32	2,896,000	2,562,760	333,240	11.51%
東京事務機販売 株式会社	29,040	2,620,200	2,077,700	542,500	20.70%
太平洋食品 株式会社	4,018	2,501,792	1,875,930	625,862	25.02%
テック高松 株式会社	32	1,929,200	1,566,880	362,320	18.78%
新潟工業 株式会社	8	1,900,000	1,664,000	236,000	12.42%
株式会社 鹿児島文具	58,866	1,887,231	1,464,000	423,231	22.43%
高松屋百貨店	100	1,500,000	1,218,000	282,000	18.80%
福田商事 株式会社	26	1,490,800	1,336,340	154,460	10.36%
新宿フラー	146	1,448,000	931,000	517,000	35.70%
群馬事務機 株式会社	43,700	1,275,000	1,015,000	260,000	20.39%
石川食品 株式会社	3,500	1,207,550	915,700	291,850	24.17%
神奈川物産 株式会社	2,576	1,045,000	819,400	225,600	21.59%
大阪食品 株式会社	2,358	863,040	563,590	299,450	34.70%
T-SHOP厚宿	368	547,000	479,100	67,900	12.41%
京都システム 株式会社	1,162	469,500	370,400	99,100	21.11%
(合計)	209,031	44,938,640	36,514,200	8,424,440	18.75%



ボタン分割した状態を、定型テンプレートとして登録することはできませんのでご注意ください。
なお、ボタン分割を解除するには[ボタン分割解除]アイコンをクリックします。



■ テンプレートの追加登録

自分で作成した集計表やグラフを、標準のテンプレートに追加登録することができます。



DataNature6 の操作方法の詳細や機能については、[ヘルプ]アイコンをクリックして表示されるオンラインヘルプか、DataNature for 奉行トライアル版をインストールされた PC の、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DataNature6 トライアル版]-[Manual]-[DataNature6 入門マニュアル]から表示される「DataNature6 入門マニュアル.pdf」を参照ください。

- 1 テンプレートに追加したい集計表やグラフを表示します。
- 2 [定型登録]アイコンをクリックします。



▼[定型登録]ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [定型名称:]テキストボックスに、任意のテンプレート名称を直接入力し、[OK]ボタンをクリックします。
- 4 続いて、テンプレートファイルの保存を行なうため、[定型一覧]アイコンをクリックします。



▼[定型一覧]ダイアログボックスが表示されます。

- 5 [テーマ名称]欄に表示されている名称を確認し、[テーマの保存]ボタンをクリックします。

▼[テーマの保存]ダイアログボックスが表示されます。

- 6 テーマ一覧リストに表示されているボタンから、先ほど[定型一覧]ダイアログボックスの[テーマ名称]欄で確認した名称を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

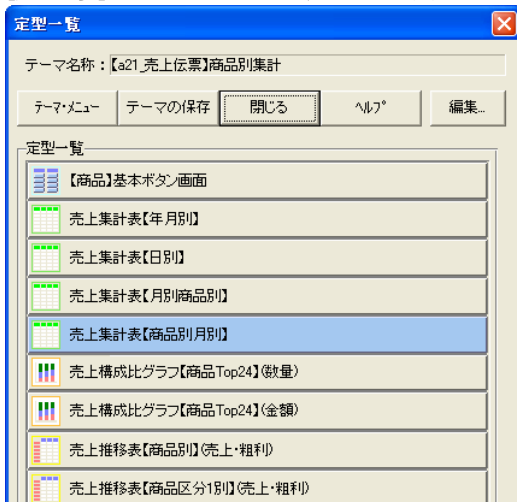
▼テーマファイルの上書き確認のメッセージが表示されます。

- 7 [OK]ボタンをクリックします。
▼[定型一覧]ダイアログボックスに戻ります。定型一覧に表示されているすべての定型テンプレートが対象のファイルへ上書き保存されました。

■ テンプレートの修正登録

既存のテンプレートを、使いやすいように修正し、修正した情報をテンプレートに上書き登録できます。

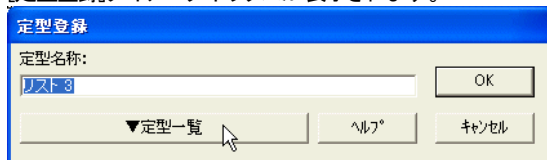
- 1 [定型一覧]アイコンをクリックします。
▼[定型一覧]ダイアログボックスが表示されます。



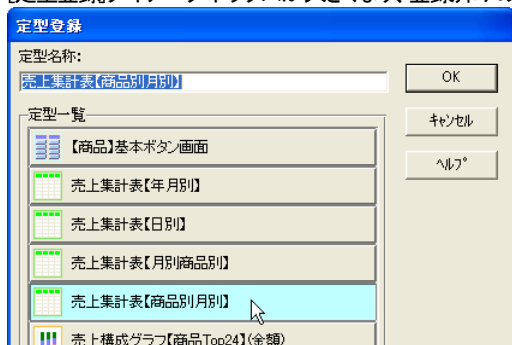
- 2 編集したい対象の定型テンプレートボタンをクリックして実行します。
※画面が表示されたら、必要な修正を行ないます
- 3 必要な修正が完了したら、[定型登録]アイコンをクリックします。



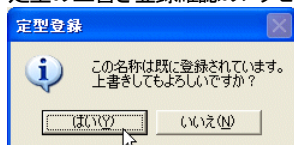
▼[定型登録]ダイアログボックスが表示されます。



- 4 [▼定型一覧]ボタンをクリックします。
▼[定型登録]ダイアログボックスが大きくなり、登録済みの定型一覧リストが表示されます。



- 5 登録済みの定型一覧リストから、上書き対象の定型テンプレートボタンをクリックします。
手順②で選択した定型テンプレートは、水色に反転表示され、分かりやすくなっています。
▼定型の上書き登録確認のメッセージボックスが表示されます。[[はい]をクリックして上書きを実行します。



- 6 目的の定型テンプレートが上書きされました。
- 7 必要な定型テンプレートの編集と上書き登録が終了したら、テンプレートファイルの上書き保存処理を行いません。P.45の手順④～⑦を実行してください。



登録した定型テンプレートの名称や表示順を変更したり、使用しないテンプレートを削除することも可能です。詳しくは、DataNature for 奉行トライアル版をインストールされたPCの、[スタート]-[プログラム]-[DataNature シリーズトライアル版]-[DataNature6 トライアル版]-[Manual]-[DataNature6 入門マニュアル]から表示される「DataNature6 入門マニュアル.pdf」の第IV章 基本操作「5. 定型の活用」の「定型の編集」を参照ください。

■ 会社データ領域の異なるデータを同時に分析する方法

DataNature for 奉行の標準の利用方法では、1つの会社データ領域にある情報しか読み込みできませんが、古い会社データ領域のデータを予めテキストデータ(*.csv)に出力しておく事で、例えば“会計期首が「2010/04/01」の会社データ領域”と“会計期首が「2009/04/01」の会社データ領域”のように、複数の会社データ領域にある情報を一緒に分析に利用することが可能です。



【事前準備】

会社データ領域の異なる情報を利用するには、事前にボタン画面へ[選別]アイコンを表示するための設定が必要です。

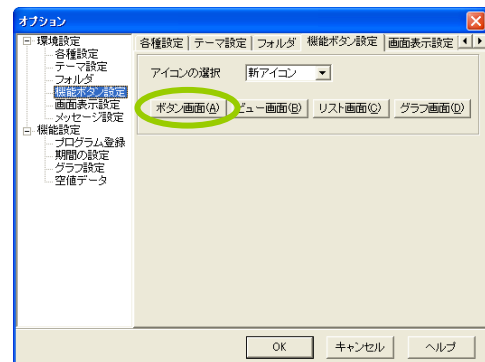
《[選別]アイコンの表示方法》

- ▼ DataNature for 奉行 会社選択画面の下部にある[DataNature6 を起動する(D)]ボタンをクリックします。
- ▼ DataNature6 が起動し、メインメニューが表示されます。
- ▼ メニューバーの[ツール]-[オプション]をクリックします。

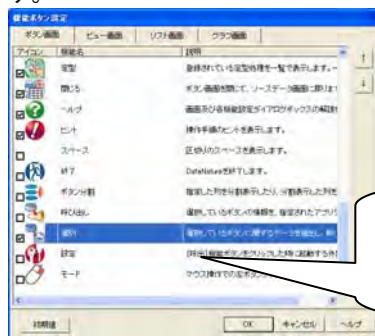


- ▼ [オプション]ダイアログボックスで、[環境設定]-[機能ボタン設定] (または [機能ボタン設定] タブ) をクリックします。

- ▼ [ボタン画面(A)]ボタンをクリックします。



- ▼ 表示された[機能ボタン設定]ダイアログボックスの[ボタン画面]タブで[選別]アイコンにチェックオンします。

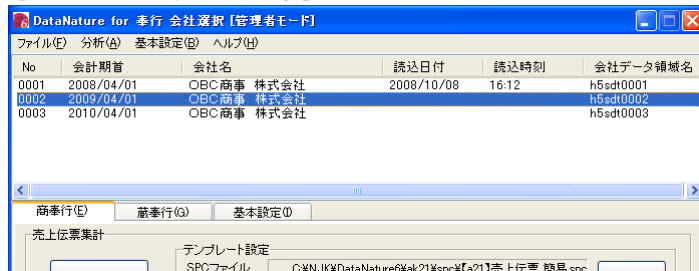


※[↑]/[↓]ボタンを利用して、表示する位置を編集することも可能です

- ▼ [OK]ボタンをクリックして、[機能ボタン設定]ダイアログボックスを終了します。
- ▼ [OK]ボタンをクリックして、[オプション]ダイアログボックスを終了します。
- ▼ メニューバー[ファイル]-[終了]をクリックして、DataNature6 を終了します。

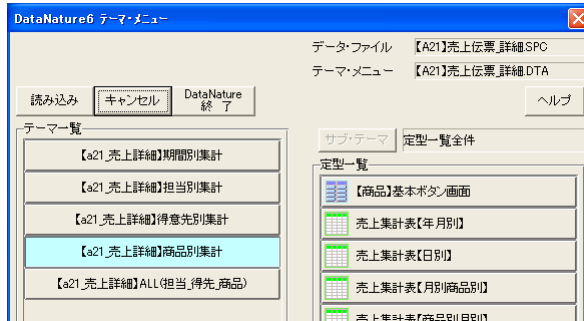
- 1 デスクトップ上に表示された[DataNature for 奉行 会社選択]のショートカットアイコンをクリックします。

▼[DataNature for 奉行 会社選択]画面が起動します。



- 2 古い会社データ領域を選択します。
- 3 分析対象のテンプレートの[実行]ボタンをクリックします。
▼テンプレート実行確認のメッセージボックスが表示されます。
- 4 メッセージに表示されている会計期首が、手順②で選択した会社データ領域と一致していることを確認し、[はい]ボタンをクリックします。

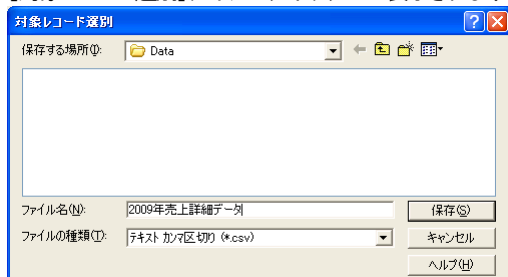
▼テンプレートメニュー(DataNature6 テーマ・メニュー)画面が表示されます。



- 5 画面右側[定型一覧]領域から<【商品】基本ボタン画面>の定型ボタンをクリックして実行します。
※ボタン画面の定型であれば、<【商品】基本ボタン画面>に限りません。
▼ボタン画面が表示されます。
- 6 <売上年度>ボタンクラス(または<受注年度>/<仕入年度>/<発注年度>のいずれか)から、分析に利用したい年度ボタンを選択します。

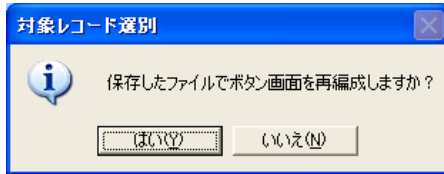


- 7 [選別]アイコンをクリックします。
▼[対象レコード選別]ダイアログボックスが表示されます。



- 8 保存する場所を指定し、ファイル名に任意の名称を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

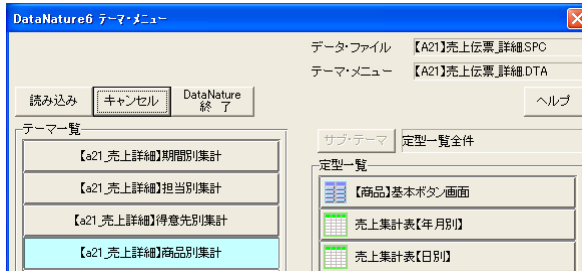
▼保存が完了すると以下の様なメッセージが表示されます。



- 9 再編成する必要はありませんので、[いいえ]ボタンをクリックし、メッセージを閉じます。
- 10 古い会社データ領域のデータのテキストデータ出力が完了しましたので、DataNature6を終了します。
▼[DataNature for 奉行 会社選択]画面に戻ります。
- 11 現在ご利用の会社データ領域を選択します。



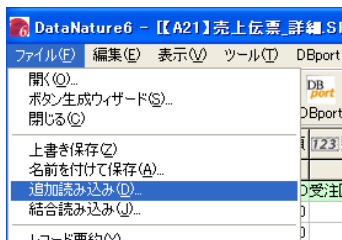
- 12 手順③と同じテンプレートを、[実行]ボタンで実行します。
▼テンプレートメニュー(DataNature6 テーマ・メニュー)画面が表示されます。



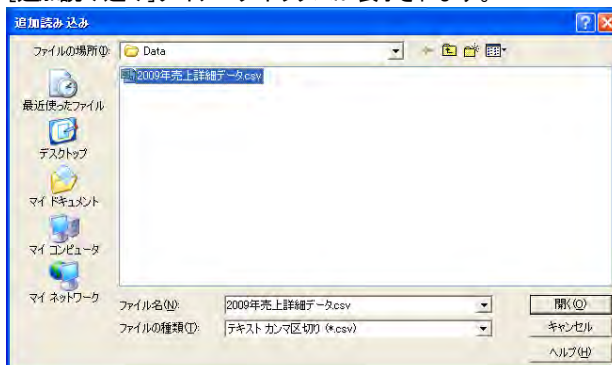
- 13 [キャンセル]ボタンをクリックします。
▼テンプレートメニューが閉じ、ソースデータ画面が表示されます。



- 14 メニューバー[ファイル]-[追加読み込み]をクリックします。

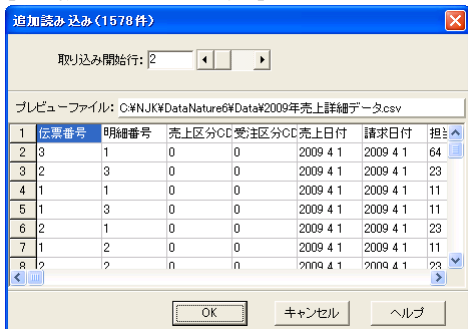


▼[追加読み込み]ダイアログボックスが表示されます。



- 15 ファイルの種類欄を「テキストカンマ区切り (*.csv)」にして、手順⑧で保存したデータを指定して[開く]ボタンをクリックします。

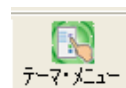
▼[追加読み込み(〇〇〇件)]ダイアログボックスが表示されます。



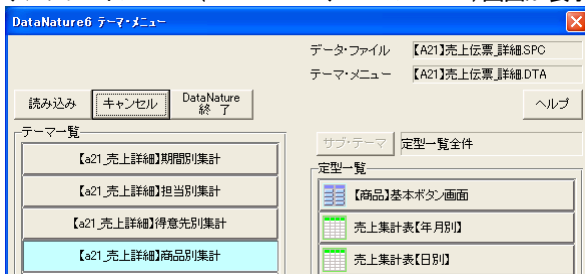
- 16 [取り込み開始行]が“2”となっているのを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

▼現在読み込まれているデータの下に、指定したデータが追加読み込みされます。

- 17 [テーマ・メニュー]アイコンをクリックします。



▼テンプレートメニュー(DataNature6 テーマ・メニュー)画面が表示されます。



- 18 画面左側に表示されている[テーマ一覧]領域から、目的の分析カテゴリのボタンをクリックして選択します。

▼選択した分析カテゴリに搭載されているテンプレートの一覧が、画面側[定型一覧]領域に表示されます。

- 19 次に、[定型一覧]領域から、実行したいテンプレートのボタンをクリックします

▼現在の会社データ領域と、予めテキストデータに保存した会社領域のデータで、指定したテンプレートが実行され、画面が表示されます。

DataNature for 奉行 トライアル版 セットアップマニュアル

2010年 3月 第1版 第1刷発行

Copyright 1996-2010 NJK CORPORATION

発行 株式会社エヌジェーケー

〒153-8641 東京都目黒区中目黒 4-8-2

T E L 03-5722-5766

F A X 03-5722-5767

U R L <http://www.njk.co.jp/datanature/>

E-mail DataNature@njk.co.jp

無断転載を禁じます。なお、本書の内容を断りなく変更することがあります。